



取扱説明書
HUSQVARNA AUTOMOWER®
305E/310E/405XE/410XE
NERA



JA, 日本語

本製品をご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、内容をしっかりと把握してください。

目次

1 安全性		5.3 パターン	34
1.1 安全性の定義	4	5.4 操作	35
1.2 一般的な安全注意事項	4	5.5 設置の設定	36
1.3 設置の安全注意事項	5	5.6 アクセサリー	37
1.4 操作のための安全注意事項	5	5.7 一般	37
1.5 メンテナンスのための安全注意事項	5	5.8 セキュリティ	38
1.6 バッテリーの安全	6	5.9 Automower® Connect	38
1.7 本製品の持ち上げと移動	6	5.10 メッセージ	38
2 はじめに		5.11 Automower® Intelligent Mapping (AIM)	38
2.1 はじめに	7	5.12 無線ファームウェアのダウンロード	
2.2 サポート	7	FOTA (Firmware over the air)	39
2.3 製品の説明	7	5.13 芝刈りプロファイル	39
2.4 製品の概要	8	5.14 チャージステーションを地図上に再設置 するには	39
2.5 製品に表記されるシンボルマーク	9	6 動作	
2.6 バッテリーのマーク	10	6.1 本製品をオンにする	40
2.7 ディスプレイ上のアイコン	10	6.2 本製品の始動方法	40
2.8 Automower® Access のメニューツリーの概要	11	6.3 本製品の駐車	40
2.9 製品の損傷	12	6.4 本製品の停止方法	40
3 仮想境界を使用した設置		6.5 本製品をオフにする	41
3.1 はじめに - 設置	13	6.6 バッテリーの充電	41
3.2 EPOS™ を使用して設置する場合のシステ ム概要	14	7 メンテナンス	
3.3 設置用の主要部品	14	7.1 はじめに - メンテナンス	42
3.4 設置準備	14	7.2 メンテナンスのスケジュール	42
3.5 リファレンスステーションの設置場所につ いて	15	7.3 製品の清掃	43
3.6 チャージステーションの設置場所について	15	7.4 バッテリー	44
3.7 電源装置の取り付け場所について	16	7.5 ブレードの交換	44
3.8 仮想境界の設置場所について	16	8 トラブルシューティング	
3.9 EPOS™ ワイヤーによるサポート機能の使 用方法	18	8.1 メッセージ	46
3.10 本製品の設置	18	8.2 チャージステーションの LED インジケータ	54
4 境界ワイヤーを使用した設置		8.3 症状	55
4.1 はじめに - 設置	25	8.4 ループワイヤーの損傷を発見	56
4.2 設置用の主要部品	25	9 搬送、保管、廃棄	
4.3 設置準備	25	9.1 搬送	59
4.4 ワイヤーを設置する前に	25	9.2 本製品の保管方法	59
4.5 本製品の設置	30	9.3 チャージステーションを保管する	59
5 設定		9.4 保管後にチャージステーションを設置する	59
5.1 スケジュール	34	9.5 廃棄	60
5.2 刈高	34	10 主要諸元	
		10.1 主要諸元	61
		11 日本市場に適用可能	

11.1 コンプライアンス要件.....	65
----------------------	----

1 安全性

1.1 安全性の定義

警告、注意、注記は、取扱説明書の特に重要な部分を示しています。



警告： 取扱説明書の指示に従わない場合、使用者が負傷したり、死亡したりするか、あるいは付近の人に損傷を与える危険があることを意味します。



注意： 取扱説明書の指示に従わない場合、製品や他の物品、または隣接するエリアに損傷を与える危険があることを意味します。

注記： 特定の状況で必要とされる詳細情報を提供するために使用されます。

1.2 一般的な安全注意事項



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 本取扱説明書をよくお読みになり、内容をしっかりと把握したうえで、本製品を使用してください。後で参照できるように保管しておいてください。
- 本機は、身体能力、感覚能力、または精神能力（本製品の安全な取り扱いに影響する可能性がある）が低下した人や子供、または経験や知識のない人による使用を想定していません。ただし、使用者の安全に責任を負う人が本機の使用に関して監督や指導をする場合を除きます。ただし、EU 要件により、本機は 8 才以上の小児、または身体的、知覚的、精神的障害のある方、および経験や知識の浅い方でも、保護者または責任者の監視の下、または本装置の安全な使用に関する説明を受け、起こりうる危険について理解した上で使用することができます。本装置を小児の玩具にしないでください。クリーニングおよびメンテナンスは、保護者による監視のない限り、小児に行わせてはいけません。
- 本製品には、Husqvarna から推奨される装置のみを使用することができます。それ以外の使用は適切ではありません。
- 本製品の損傷および車両や人身事故を防ぐため、公共の道路や通路を横断するような作業エリアや輸送経路を設置しないでください。
- 本製品は玩具ではありません。本製品のブレードは、人や動物を負傷させるおそれがあります。
- 作動中は、8 歳未満のお子様を作業エリアに立ち入らせないでください。作動中は、お子様および動物を常に監視する必要があります。
- 本製品の作動中は、人と本製品との距離を 3 m (10 フィート) 以上空ける必要があります。本製品の作動中は、作業エリアで睡眠を取ったり日光浴をしたりしないでください。
- 本製品が公共の場所で動作する場合は、作業エリアに警告標識を設置する必要があります。標識には次のテキストを含める必要があります。警告! ロボット芝刈機! 機械に近づかないでください! お子様を近づけないでください!
- appDrive を使用して本製品を手動操作しているときに、走らないでください。常に自分が安全で安定した位置にいることを確認してください。急斜面での作動時は、本製品の近くに人がいないことを確認してください。appDrive を使用して本製品を操作しているときは、必ず丈夫な靴と長ズボンを着用してください。
- 本製品をオフにするには、本製品の後方で STOP ボタンを押します。アプリを使用して本製品を一時停止することができます（該当する製品の場合）。本製品をオフにした後、3 秒以上待つってから本製品を移動してください。
- 詰まりを解消する前、メンテナンスまたは検査を行う前や、製品が異常に振動し始めた場合は、本製品をオフにしてください。本製品を再起動する前に、損傷がないことを点検してください。損傷している場合は、本製品を使用しないでください。
- 完全に停止するまでブレードディスクなどの稼働する危険な部品には触らないでください。
- 負傷や事故が発生した場合は、医師にご相談ください。
- 電源ケーブルと延長ケーブルを作業エリアに置かないでください。ケーブルが損傷するおそれがあります。
- 損傷したケーブルやプラグを接続したり、電源から切断する前に損傷したケーブルに触れたりしないでください。動作中にケーブルが損傷した場合は、電源コンセントからプラグを外します。消耗または損傷したケーブルを使用すると、感電のリスクが高くなります。損傷したケーブルはサービス担当者が交換する必要があります。
- 電源をコンセントに接続する場合は、トリップ電流が最大 30mA の漏電遮断器 (RCD) を使用してください。
- 本製品は付属のチャージステーションでのみ充電してください。バッテリーを安全に廃棄する方法については、「廃棄 60 ページ」を参照してください。誤った使用は、感電、過熱またはバッテリーから腐食液が漏れ出る原因になる可能性があります。電解液が漏れた場合は、水/中和剤で洗い流します。腐食性の液体が目に入った場合は、医師にご相談ください。
- Husqvarna が推奨する純正バッテリーのみを使用してください。純正バッテリー以外を使用した場合、製品の安全は保証されません。充電式ではないバッテリーは使用しないでください。

- 設置手順（作業エリアの指定を含む）に従ってください。参照：はじめに - 設置 13 ページ。
- 本製品の始動と操作に関する手順に従ってください。参照：動作 40 ページ。
- 雷雨の危険性がある場合は、Husqvarna では、電気部品の損傷を防ぐためにチャージステーションへの電源とすべての配線の接続を外すことをお勧めします。雷雨の危険がなくなった場合に電源装置とすべての配線を再度接続します。すべての配線が正しく接続されていることが重要です。
- 保守手順に従い、必要に応じて Husqvarna 純正のスペアパーツを使用します。「メンテナンス 42 ページ」を参照してください。
- 質量、寸法、騒音排出値などの主要諸元については、「本製品の設置 30 ページ」を参照してください。
- 作業者は、他の人またはその所有物に発生した事故または危険の責任を負います。
- 本製品の操作、メンテナンス、および修理は、必ずその特性と安全基準に完全に精通している担当者のみが行ってください。
- 本製品の設計に変更を加えてはいけません。
- 電気的安全性に関する各国の規制に従ってください。
- Husqvarna は、リモコンや無線送信機などの他の無線システムと本製品の間の互換性を完全に保証していません。
- 内蔵アラームが大音量で鳴ります。本製品を室内から操作する場合は、特に注意が必要です。
- 動作温度および保管温度範囲は 0-45 °C / 32-113 °F です。充電時の温度範囲は 5-45 °C / 41-113 °F です。温度が高すぎると、本製品が損傷する可能性があります。

1.3 設置の安全注意事項



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- チャージステーションおよびアクセサリは、可燃物から 60 cm (24 インチ) 以内の場所には設置しないでください。不具合が生じた場合は、チャージステーションや電源装置が過熱して火災が発生する可能性があります。
- 電源装置は、水に浸る危険性のある高さに置かないでください。電源装置は、地面に置かないでください。
- 電源装置は、密閉しないでください。結露水が電源装置に悪影響を与え、感電の危険性を高めるおそれがあります。
- 蟻などの害虫がいる場所には、チャージステーションを設置しないでください。
- 米国／カナダに適用。電源が屋外に設置されている場合：感電のおそれがあります。必ずアタッチメントプラグキャップを抜き差しできる耐候性のエ

ンクロージャを備えたクラス A GFCI レセプタクル (RCD) に取り付けてください。

- 水が溜まるおそれがある場所に、チャージステーションを設置しないでください。

1.4 操作のための安全注意事項



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 回転しているブレードに手や足を近づけないでください。電源がオンの場合は、本製品の近くまたは下に手や足を近づけないでください。
- 人、特に子供や、動物などが作業エリアにいるときは、駐車モードを使用するか、本製品をオフにしてください。参照：本製品をオフにする 41 ページ。Husqvarna は、作業エリアにアクティビティがない場合に動作するように本製品を設定することをお勧めします。本製品は、夜に作業エリアでハリネズミなどの動物を負傷させる原因となることがあります。参照：動作モード - Park (駐車) 40 ページ。
- 芝生に石、枝、工具、おもちゃなどの異物がないことを確認します。ブレードは障害物に当たると損傷する可能性があります。
- 本製品がオンに設定されている場合は、持ち上げたり移動したりしないでください。
- 本製品が人や動物に衝突しないようにしてください。人や動物が本製品の進行方向に存在する場合、直ちに本製品を停止してください。参照：本製品の停止方法 40 ページ。
- 本製品やチャージステーション上に物を置かないでください。
- [STOP] ボタンが作動しない場合は、本製品を使用しないでください。
- 使用中でないときは、本製品をオフに設定してください。正しい PIN コードを入力した場合のみ本製品を起動できます。
- ポップアップスプリングラーと同時に本製品を使用しないでください。スケジュール機能を使用して、本製品とポップアップスプリングラーが同時に動作しないようにしてください。参照：スケジュール 34 ページ。
- 作業エリアに水が溜まっている場合は、本製品を動かせないでください。例えば、大雨で水たまりができている場合などです。

1.5 メンテナンスのための安全注意事項



警告： 本製品のメンテナンスを行う前に、以下の警告指示を読んでください。

- 製品のメンテナンスを行う場合に **OFF** に設定します。

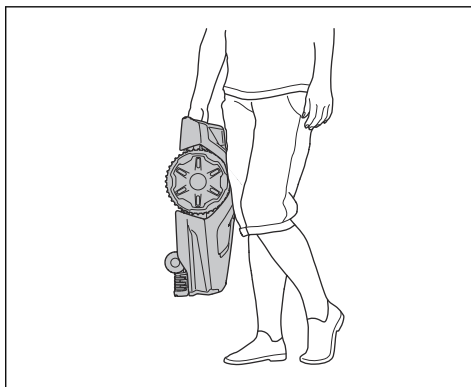
- 本製品の清掃には高圧水を使用しないでください。本製品の清掃には溶剤を使用しないでください。
- チャージステーションの清掃またはメンテナンスを行う前に、チャージステーションのプラグを抜いてください。

1.6 バッテリーの安全



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- リチウムイオンバッテリーは、分解したり、短絡したり、水、火、または高温にさらされると、爆発したり火災を起こす原因となります。慎重に取り扱ってください。バッテリーを分解したり、開けたり、電氣的/機械的な不正使用をしないでください。直射日光にさらされるような環境に保管しないでください。
- 損傷したバッテリーは使用しないでください。バッテリーが損傷している場合は破棄します。「廃棄 60 ページ」を参照してください。



1.7 本製品の持ち上げと移動



警告： 本製品を持ち上げる前に、オフに設定する必要があります。**ジョグホイール**のインジケータが消灯している場合、本製品は無効になっています。



注意： チャージステーションに駐車しているときは、本製品を持ち上げないでください。チャージステーションや本製品が損傷するおそれがあります。**STOP** ボタンを押し、本製品をチャージステーションから引き出してから、本製品を持ち上げてください。

本製品を作業エリアから、または作業エリア内で安全に移動させるには：

1. **STOP** ボタンを押して、本製品を停止します。
2. 本製品をオフにします。
3. 本製品を持ち運ぶ際は、ハンドルを持ち、ブレードディスクを身体に近づけないでください。

2 はじめに

2.1 はじめに

工場出荷時の PIN コード : 1234
製造番号 :
製品番号 :

製造番号および製品番号は本製品の銘板と梱包箱に記載されています。

- www.husqvarna.com で製品を登録してください。製品の製造番号、製品番号、購入日を入力して、製品を登録します。

2.2 サポート

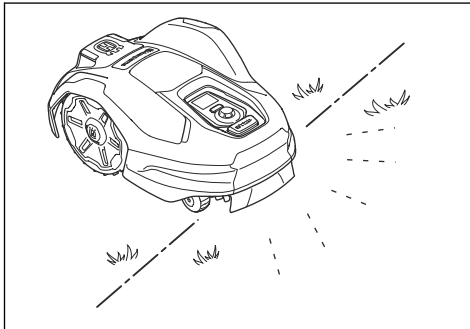
本製品のサポートについては、Husqvarna 販売店にお問い合わせください。

2.3 製品の説明

注記： Husqvarna は、製品の外観や機能を定期的に改良しています。「サポート 7 ページ」を参照してください。

本製品は、ロボット芝刈機です。本製品にはバッテリー電源が搭載されており、自動的に動作します。バッテリー残量が少なくなると、本製品はチャージステーションに移動して充電します。バッテリーが完全に充電されると、本製品は再び動作を開始します。

本製品には EdgeCut が搭載されており、芝生端部を刈り込むことができます。頻繁に芝刈りを行うことで、芝の質を向上させ、肥料の使用を減らすことができます。芝を集草する必要はありません。



2.3.1 設置方法

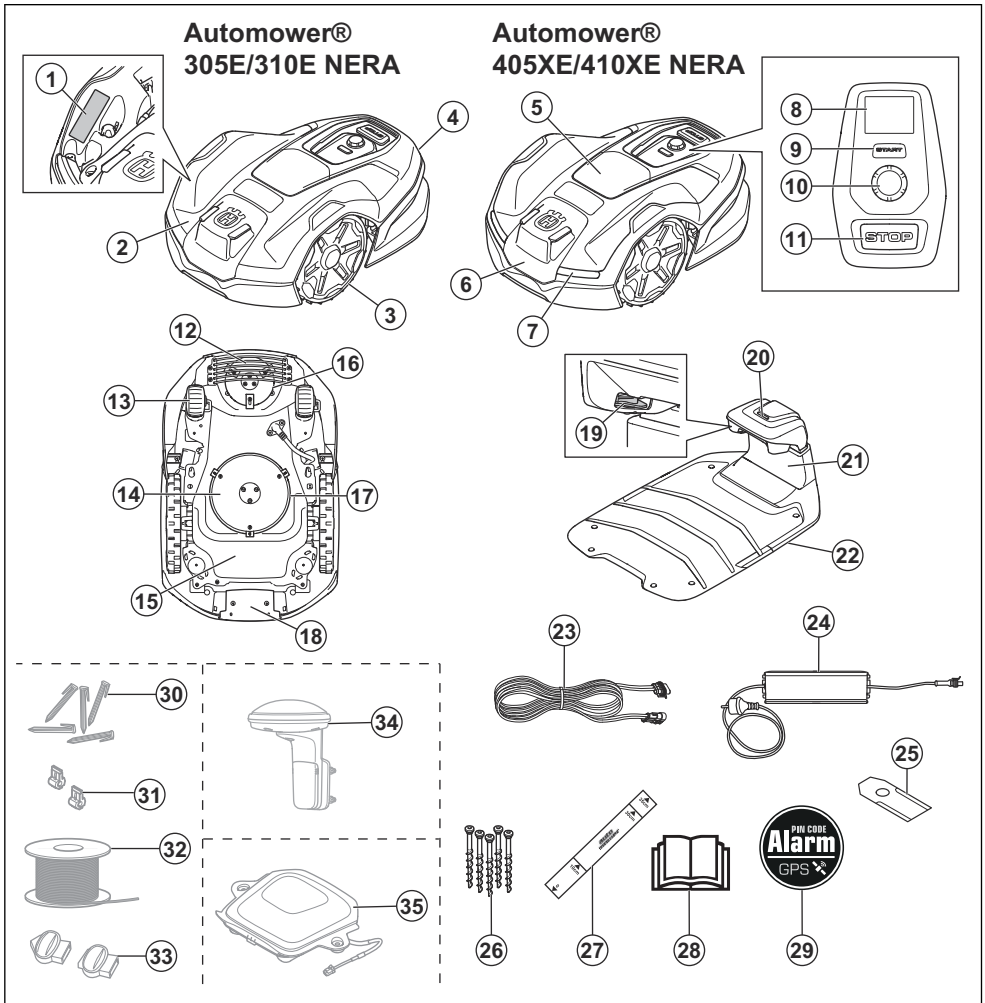
本製品は、EPOS™ 技術を使用した仮想境界、または境界ワイヤーを使用した物理的境界で設置できます。

EPOS™ を使用して設置する場合は、*仮想境界を使用した設置 13 ページ*を参照してください。境界ワイヤーの設置については、*境界ワイヤーを使用した設置 25 ページ*を参照してください。

2.3.2 Automower® Access

Automower® Access は、本製品のユーザーインターフェイスです。これには、ディスプレイ、ジョグホイール、[START] ボタン、[STOP] ボタンなどがあります。「Automower® Access のメニューツリーの概要 11 ページ」を参照してください。

2.4 製品の概要



1. シリアルプレート¹
2. 上部カバー
3. フロントホイール
4. 製品本体
5. EPOS™ ハブ
6. レーダー²
7. ヘッドライト³

8. ディスプレイ
9. START ボタン
10. ジョグホイール
11. STOP ボタン
12. ブレードディスクガード
13. リヤホイール
14. スキッドプレート

¹ 上部カバーの下にあります。

² Automower® 405XE/410XE NERA のみ。

³ Automower® 405XE/410XE NERA のみ。

15. 電子部品、バッテリー、モーターが搭載されたシャーシ
16. EdgeCut ブレードディスク
17. メインブレードディスク
18. ハンドル
19. 接触板
20. チャージステーションの LED インジケータ
21. ハッチ
22. チャージステーション
23. 低電圧ケーブル
24. 電源⁴
25. 予備のブレード
26. チャージステーション取り付けネジ
27. 境界ワイヤー設置用測定ゲージ (測定ゲージは本製品のカートンから取り外します)
28. 取扱説明書およびクイックガイド
29. アラームステッカー
30. ペグ⁵
31. ループワイヤーのコネクター⁶
32. 境界ワイヤーとガイドワイヤー用のループワイヤー⁷
33. ループワイヤーのカプラー⁸
34. リファレンスステーション EPOS™ RS1⁹
35. Automower® EPOS™ Plug-in¹⁰

2.5 製品に表記されるシンボルマーク

これらのシンボルマークは本製品上に表示されています。内容をご確認ください。



警告：本製品を操作する前に取扱説明書をお読みください。



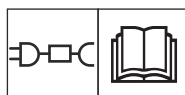
警告：メンテナンスの前、または本製品を持ち上げる前に、本製品の電源をオフにしてください。



警告：操作中は、本製品から安全な距離を保ってください。本製品の回転しているブレードに手や足を近づけないでください。



警告：本製品の上に座らないでください。手や足を本製品に近づけたり、本製品の下に入れたりしないでください。



このシンボルの横にある銘板に記載されている、取り外し可能な電源装置を使用してください。



本製品は EU 指令適合製品です。



本製品は UK 指令適合製品です。



本製品は、通常の家庭ゴミとして処分することはできません。国の規制に従い、地域のリサイクルシステムを使用してください。



シャーシには、静電放電 (ESD) に弱い部品が含まれています。シャーシは、必ず認定されたサービス技術者のみが開閉および密閉してください。シールが破損している場合、保証は適用されません。

⁴ 外観は市場によって異なる場合があります。

⁵ 別売り。

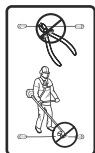
⁶ 別売り。

⁷ 別売り。

⁸ 別売り。

⁹ 別売り。

¹⁰ 別売り。



低電圧ケーブルを改造しないでください。
低電圧ケーブルの近くでヘッジトリマー
や刈払機を使用しないでください。

2.6 バッテリーのマーク



警告：リチウムイオンバッテリーは、分解
したり、短絡したり、手荒に扱ったりする
と、爆発したり火災を起こす原因となりま
す。水、火、高温にさらさないでくださ
い。



取扱説明書をお読みください。



バッテリーを火の中に廃棄したり、熱源に
さらしたりしないでください。



バッテリーは水の中に入れてください
ない。

2.7 ディスプレイ上のアイコン



本製品は作動しています。



本製品は駐車しています。



本製品は一時停止しました。



エラーが発生しました。



本製品の刈高。



携帯電話の信号の強さ。



Wi-Fi 信号の強さ。



Bluetooth® 接続が有効になっています。

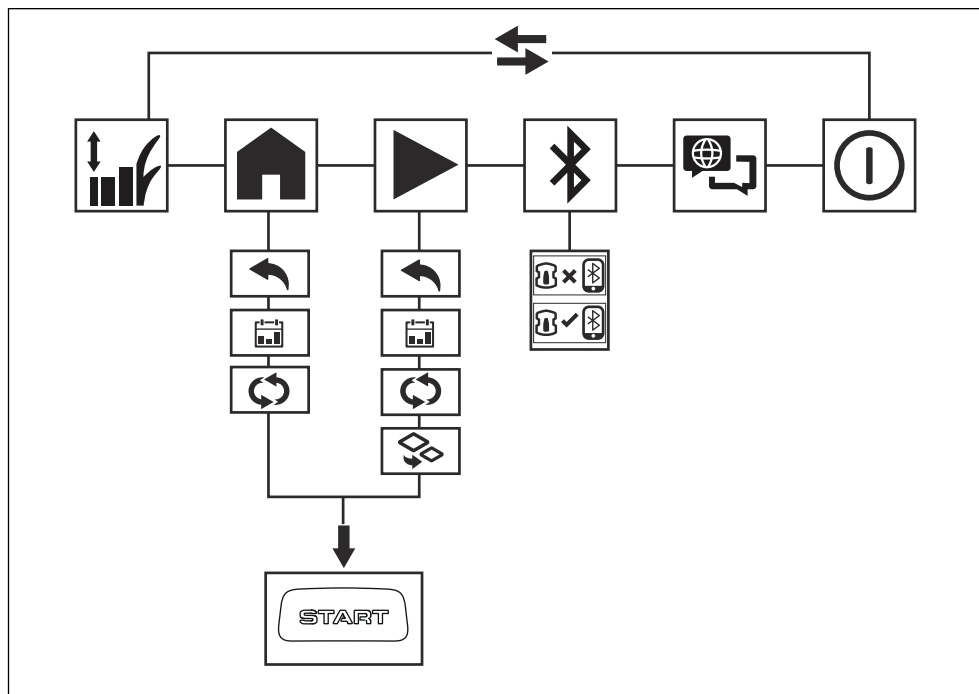


バッテリーは充電中です。



バッテリーレベル。

2.8 Automower® Access のメニューツリーの概要



2.8.1 Automower® Access のメインメニューの記号



刈高

[Cutting height (刈高)] メニューでは、刈高を調整できます。



駐車

[Park (駐車)] メニューでは、更なる通知まで駐車するように本製品を設定したり、スケジュールを設定したりできます。



芝刈り

[Mow (芝刈り)] メニューでは、設定されたスケジュールやセカンダリエリアモードで刈り込みを行うように本製品を設定できます。



接続

[Connect (接続)] メニューでは、Bluetooth® を有効にして、モバイルデバイスとのペアリング操作を行うことができます。



言語

[Language (言語)] メニューでは、表示する言語を選択できます。



電源オフ

[Power off (電源オフ)] で、本製品をオフにします。

2.8.2 Automower® Access のサブメニューにある記号



戻る

[Back (戻る)] を選択すると、メインメニューに戻ります。



スケジュール

[Schedule (スケジュール)] サブメニューでは、スケジュール設定を選択できます。スケジュール設定は、Automower® Connect アプリで設定します。



選択した動作モード

作業エリアが 1 つしかない場合は、スケジュールのオーバーライドを選択し、動作モードを変更するまで刈り込みを続けることができます。

作業エリアが複数ある場合は、スケジュールのオーバーライドを選択し、作業エリアの 1 つのみで刈り込みを行うことができます。不規則な芝刈りを伴う作業エリアでは、動作モードを変更するまで、本製品がそのエリアを刈り込みます。体系化された作業エリアでは、本製品がそのエリアを完了するまで刈り込み、その後チャージステーションに駐車します。



セカンダリエリア

[Secondary area (セカンダリエリア)] サブメニューでは、セカンダリエリアの動作モードを選択できます。「セカンダリエリア 40 ページ」を参照してください。



接続済み

本製品とモバイルデバイスは Bluetooth® で接続されています。



接続なし

本製品とモバイルデバイスは Bluetooth® で接続されていません。

2.8.3 アプリ内の記号



本製品が受信する修正データのステータスを示します。

EPOS™ 確認済みのステータスです。本製品の位置と方向が正確な状態です。本製品を自動操作したり、地図オブジェクトを設置したりするのに必要です。

EPOS™ アクションが必要なステータスです。本製品の位置は正確ですが、正確な方向を取得するために、手動または自動で製品を操作する必要があります。

EPOS™ が検索中のステータスです。本製品の位置が正確ではないため、正確な位置を取得するために衛星信号と修正データを検索しています。



2.9 製品の損傷

以下の場合、当社は製品の損傷について責任を負いません。

- 本製品が誤って修理された場合。
- メーカーによるものではない部品、またはメーカーの認可していない部品を使用して本製品を修理した場合。
- メーカーによるものではないアクセサリ、またはメーカーの認可していないアクセサリを本製品に使用した場合。
- 認定サービスセンターまたは認定販売店で本製品が修理されていない場合。

3 仮想境界を使用した設置

3.1 はじめに - 設置



警告： 本製品を設置する前に、安全に関する章を読んで理解してください。



注意： 純正のスペアパーツと設置器具を使用してください。

注記： 設置に関する詳細については、www.husqvarna.com を参照してください。

EPOS™ を使用して仮想境界を設置する場合、本製品は、衛星と修正データを使用して移動します。修正データは、Husqvarna® Cloud またはリファレンスステーションを介して受信します。リファレンスステーションは、Husqvarna® Cloud に接続できない場合に使用できるオプションのアクセサリです。

注記： 一部の国は、リファレンスステーションまたは Husqvarna® Cloud を介した修正データに対応していません。詳しくは、最寄りの Husqvarna 販売店までお問い合わせください。

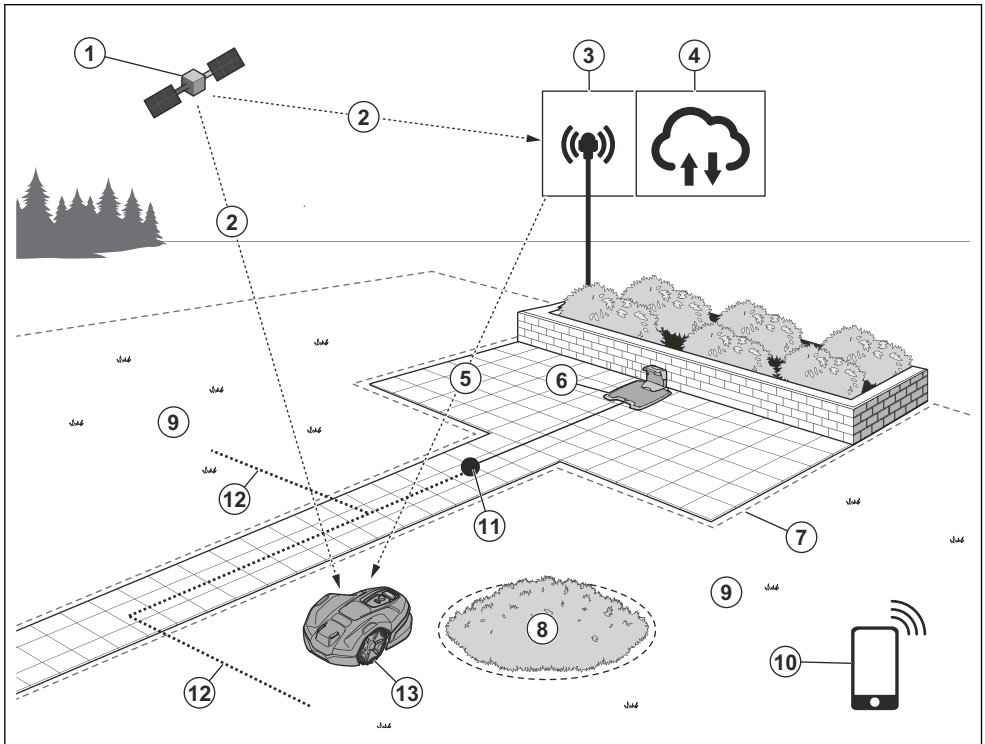
設置するため、本製品は Automower® Connect アプリ内の **appDrive** を使用して操作します。通過点が追加されて、アプリ内の地図が作成されます。

作業エリアとは、本製品が作動し、芝を刈るエリアです。本製品が入れない進入制限ゾーンを作成することもできます。

チャージステーション前部にはドッキングポイントがあります。これは、本製品がチャージステーションとの間を移動するために使用されます。

ドッキングポイントと作業エリアの間を移動するには、輸送経路が必要です。輸送経路を移動する際に、本製品は芝を刈りません。「EPOS™ を使用して設置する場合のシステム概要 14 ページ」を参照してください。

3.2 EPOS™ を使用して設置する場合のシステム概要



1. 衛星
2. 衛星信号
3. リファレンスステーション¹¹
4. Husqvarna® Cloud
5. 修正データ
6. チャージステーション
7. 仮想境界
8. 進入制限ゾーン
9. 作業面積
10. モバイルデバイス
11. ドッキングポイント
12. 輸送経路
13. ロボット芝刈機

3.3 設置用の主要部品

設置には以下の部品が必要です。

- 自動で芝刈りを行うロボット芝刈機。

- 本製品を充電するチャージステーション。
- チャージステーションおよび 100 V～240 V 電源コンセントに接続した電源。
- リファレンスステーション¹²：衛星信号を受信し、ロボット芝刈機に補正データを送信する。
- 本製品の設置および設定を行うための Automower® Connect アプリを搭載したモバイルデバイス。

3.4 設置準備



注意： 芝生内に水が入っている穴があると、本製品が損傷するおそれがあります。



注意： 設置を開始する前に、「設置」の章をお読みください。

¹¹ オプションのアクセサリ（別売）。

¹² オプションのアクセサリ（別売）。

- Husqvarna® Cloud を介して EPOS™ を使用する場合は、本製品が作業エリア全体で修正データを受信できることを確認してください。

注記： Husqvarna® Cloud を介して本製品の修正データを受信するには、携帯電話ネットワークまたは Wi-Fi が必要です。Automower® 405XE/410XE NERA の場合は携帯電話ネットワーク、Automower® 305E/310E NERA の場合は作業エリア全体で Wi-Fi ネットワークが必要です。これが不可能な場合、ローカルのリファレンスステーションを使用して、代替として修正データを受信することができます。

- 作業エリアの設置図を作成し、それにすべての障害物を含めておきます。これにより、チャージステーション、仮想境界、リファレンスステーションの設置位置の検討が容易になります。
- 設置図に、チャージステーション、メンテナンスポイント、輸送経路、仮想境界、進入制限ゾーン、リファレンスステーションの設置場所をマークします。
- 芝生の穴を埋めて水平にします。
- Automower® 305E/310E NERA の場合、チャージステーションが Wi-Fi の範囲内にあることを確認してから、新しいファームウェアをダウンロードしてください。無線ファームウェアのダウンロード FOTA (Firmware over the air) 39 ページを参照してください。Automower® 405XE/410XE NERA では、FOTA に Wi-Fi または携帯電話技術が使われています。
- Automower® 305E/310E NERA の場合、Automower® Connect アプリをリモートで使用するには、作業エリアが Wi-Fi の範囲内であることを確認してください。Automower® Connect アプリとのペアリング操作 20 ページを参照してください。Automower® 405XE/410XE NERA では、Automower® Connect に Wi-Fi または携帯電話技術が使われています。
- 本製品を設置する前に、芝を刈ってください。このとき、芝は 6 cm / 2.5 インチ以下にする必要があります。

注記： 設置後の最初の数週間は、本製品が芝を刈るときに聞こえる騒音レベルが通常よりも高くなる可能性があります。しばらくすると、騒音レベルは下がります。

3.5 リファレンスステーションの設置場所について

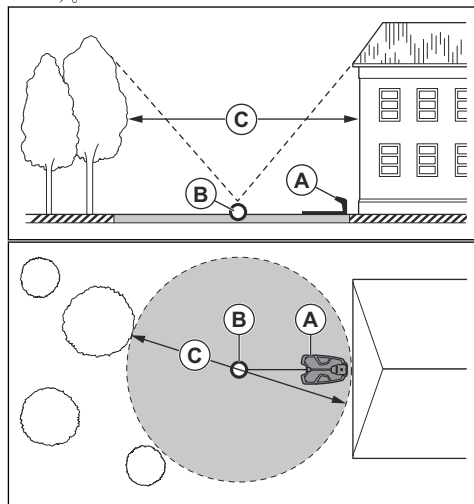
リファレンスステーションの設置場所に関する指示を読み、理解してください。リファレンスステーションの取扱説明書を参照してください。

3.6 チャージステーションの設置場所について

- チャージステーションは作業エリア内と作業エリア外のいずれにも置くことができます。
- ドッキングポイントが作業エリア外にある場合は、ドッキングポイントから作業エリアまで輸送経路を設置します。
- 開けた場所にチャージステーション (A) を置きます。
- ドッキングポイントをチャージステーションから 70~250 cm / 28~98 インチに設定します。ドッキングポイント (B) には、上空に遮るものがない視野を確保してください。
- チャージステーションの前には十分な空きスペースを設けてください。

注記： Husqvarna は、チャージステーションの前に、6 m/20 フィート (C) 以上の空きスペースを確保するよう推奨します。

- 後退距離は 70-250 cm/28-98 インチに設定できます。



注記： 後退距離が短いと、わだちができるリスクが減少します。ドッキングポイントで良好な衛星信号を受信するには、後退距離を長くする必要があります。

- チャージステーションは、コンセントの近くに設置してください。
- チャージステーションは、平らな場所に設置してください。
- チャージステーションのベースプレートを曲げないでください。

- 作業エリアが急斜面により 2 つの場所に分割されている場合、Husqvarna は、低い方の場所にチャージステーションを設置することをお勧めします。



注意： 地中に金属製の物体が埋まっている場所にはチャージステーションを設置しないでください。金属製の物体がチャージステーションの信号と干渉する可能性があります。

3.7 電源装置の取り付け場所について



注意： 本製品のブレードが低電圧ケーブルを切断しないようにしてください。



注意： 低電圧ケーブルをコイル内やチャージステーションプレートの下に置かないでください。コイルはチャージステーションからの信号との干渉を引き起こします。



- 電源装置は、屋根があり、日光や雨から保護されている場所に取り付けてください。
- 電源装置は、適切な換気のある場所に設置してください。
- 電源装置を電源コンセントに接続する場合は、トリップ電流が 30 mA 以下の漏電遮断器 (RCD) を使用してください。

さまざまな長さの低電圧ケーブルが、アクセサリとして用意されています。

3.8 仮想境界の設置場所について



注意： 作業エリアが水域、斜面、崖、公道に隣接している場合は、保護壁を設ける必要があります。この保護壁の高さは、15 cm / 6 インチ以上にする必要があります。

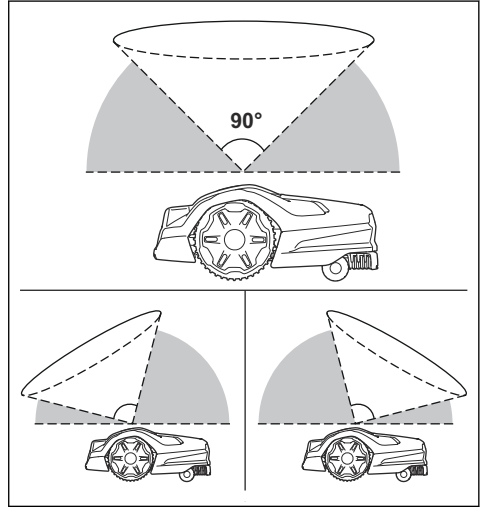


注意： 本製品は、砂利の上では使用しないでください。

- 動作時に異音が発生しないようにするには、樹木、根、石などの障害物すべての周囲に進入制限ゾーンを設けます。
- 仮想境界を設置する前に、作業エリアの設置図を作成してください。

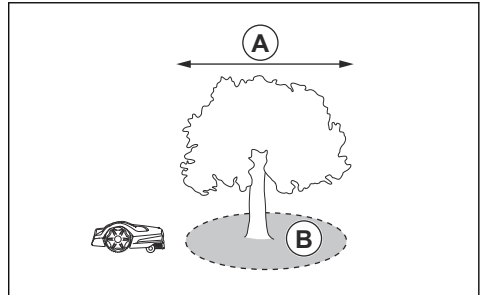
3.8.1 建物や木の近くに地図オブジェクトを設置するには

- 本製品の稼動場所の上空の 90° 部分が遮られていないことを確認します。



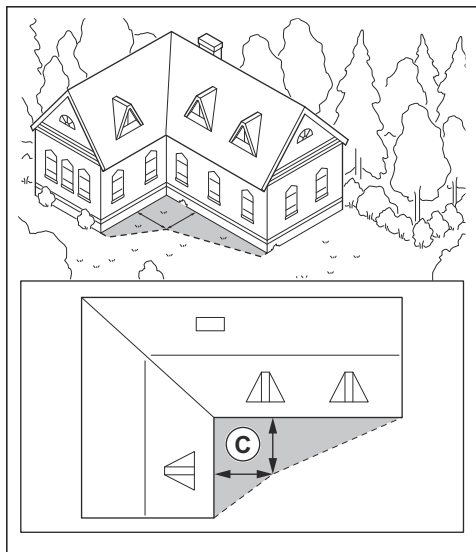
注記： 上空が遮られていると、本製品は、移動に必要な衛星信号を受信できません。

- 直径 4 m/13 フィートを超える樹冠がある木や木々の周りには、進入制限ゾーン (B) を設けてください。

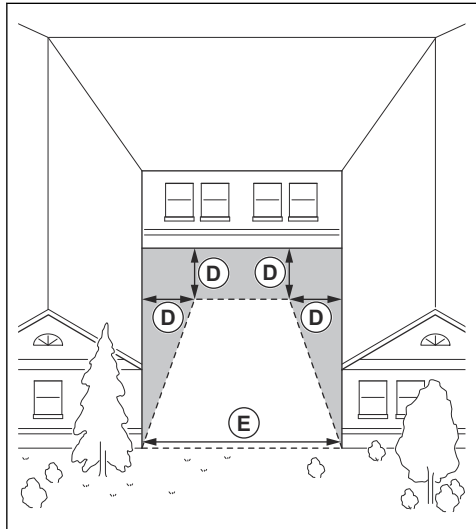


注記： 直径 (A) が 4 m/13 フィートを超える樹冠がある木や木々により、本製品が一時停止する可能性があります。通常、木が小さければ本製品の動作に干渉することはありません。

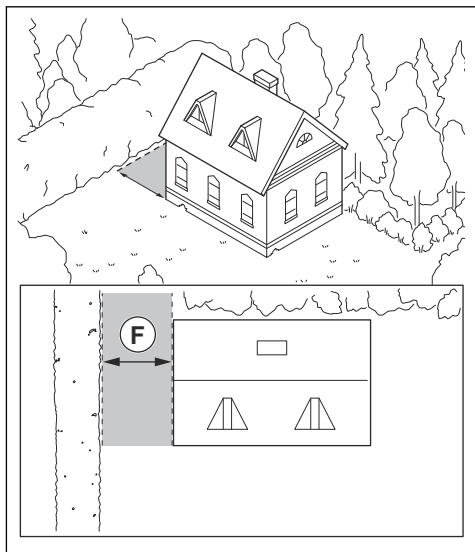
- L 字型の建物がある場合は、建物から 1.5 m/5 フィート以上の位置に仮想境界を設置します。



- U字型の建物があるエリアに仮想境界を設置するには、距離 (E) が 6 m/20 フィート以上あることを確認します。建物が 3 m/10 フィートよりも高い場合は、距離 (E) が最も高い建物の高さの 2 倍であることを確認します。建物から 1.5 m/5 フィート以上離れた距離 (D) の位置に仮想境界を設置します。



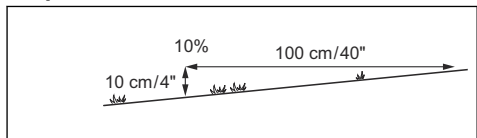
- 物体間のエリアの距離 (F) が 4 メートル/13 フィート以上であることを確認します。



注記： 幅が 4 m/13 フィート未満のエリアの場合、刈り込みせずにロボット芝刈機を通過させる輸送経路を設けることができます。

3.8.2 斜面での地図オブジェクトの設置

本製品は、作業エリアの 30% 斜面でも動作します。仮想境界の最大斜度は 20% です。勾配 (%) は、1 メートルあたりの高さで計算されます。例：10 cm / 100 cm = 10%。



- 作業エリア内の勾配が 30% を超える斜面は、周囲に進入制限ゾーンを設置して隔離してください。
- 公共の道路に隣接する斜面の場合は、斜面の外縁にフェンスまたは保護壁を設置してください。
- Husqvarna は、芝の損耗を防ぐために斜面を直登するよう、体系化された方向パターンを設定することをお勧めします。

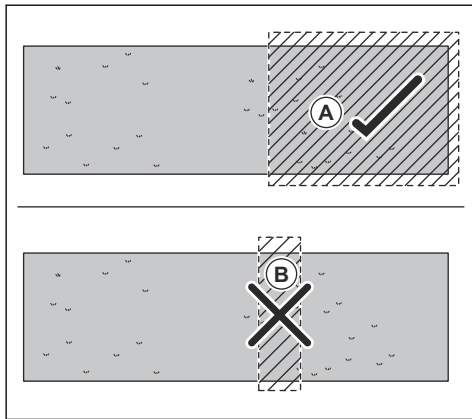
3.8.3 経路

経路とは、2 つの作業エリアを接続する、両側に仮想境界が設けられた部分です。経路の幅を 2 m/6.5 フィート以上にすると、良好な刈り込み結果が得られます。

3.8.4 進入制限ゾーンの設置場所について

- 物体の周囲に 2 x 2 m/6.6 x 6.6 フィートを上回る進入制限ゾーンを設けてください。

- 進入制限ゾーンが 30 x 30 cm/1 x 1 フィート以上であることを確認してください。
- 進入制限ゾーンには、本製品が進入してはならない完了エリア (A) があることを確認してください。

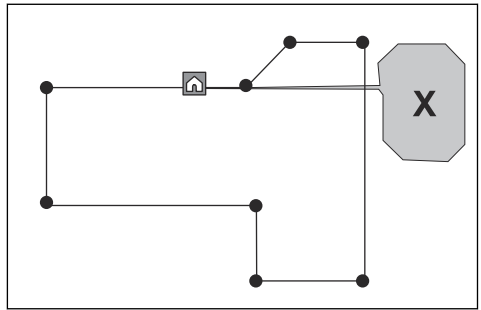
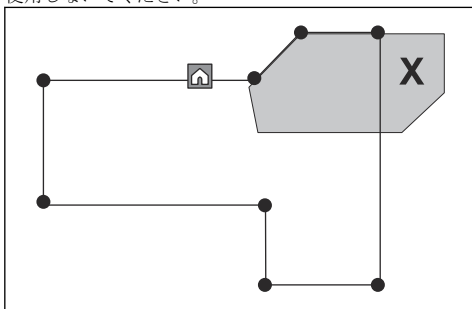


注記： 本製品が作業エリアの一部に入らないようにするには、作業エリアを横断するような進入制限ゾーン (B) を設けないでください。

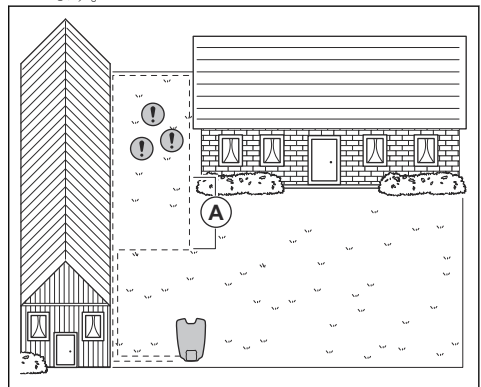
3.9 EPOS™ ワイヤーによるサポート機能の使用方法

境界ワイヤーは、EPOS™ システムで動作するように設置することができます。衛星信号が弱い場合は、境界ワイヤーを設置します。これは、作業エリアの一部または輸送経路を設置したエリア内でも構いません。

注記： 作業エリアを拡張するために境界ワイヤーを使用しないでください。



- 境界ワイヤー (A) の一部を、衛星信号が弱いエリアから約 2 m (6.6 フィート) 離れた場所に配置します。



- 境界ワイヤーの設置時に、[EPOS™ Support by wire (ワイヤーによるサポート)] 機能を有効にします。Automower® Connect アプリケーションで [Accessories (アクセサリ)] > [EPOS™ Support by wire (ワイヤーによるサポート)] > [Enable (有効化)] の順に選択します。
- 本製品が作業エリアの一部で停止したままになる場合は、作業エリアの境界ワイヤーを延長します。
- 本製品が境界ワイヤーのエリアから移動できない場合は、作業エリアの境界ワイヤーを延長します。

3.10 本製品の設置

3.10.1 設置ツール

- 8 mm 六角レンチ (カートンに同梱)。

3.10.2 チャージステーションの設置

チャージステーションに関する指示を読み、理解してください。「チャージステーションの設置場所について 15 ページ」を参照してください。



注意： チャージステーションのプレートに新しく穴を開けないでください。



注意： チャージステーションのペースプレートに足を乗せないでください。



警告： 低電圧ケーブルと電源装置を接続する前に、プラグが清潔で乾燥していることを確認してください。

電源を接続する場合は、漏電遮断器（RCD）に接続された電源コンセントのみを使用してください。

3.10.2.1 チャージステーションを設置する方法



注意： チャージステーションのプレートに新しく穴を開けないでください。



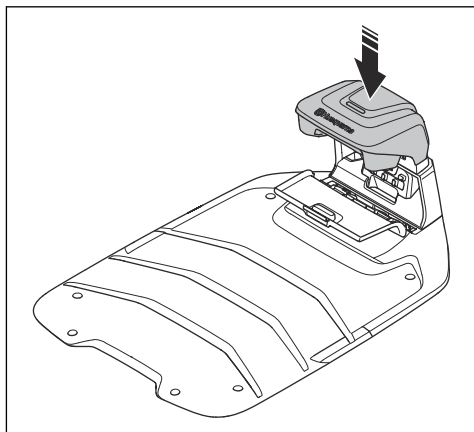
注意： チャージステーションのペースプレートに足を乗せないでください。



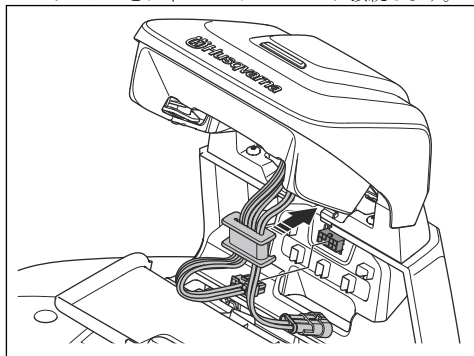
警告： 低電圧ケーブルと電源装置を接続する前に、プラグが清潔で乾燥していることを確認してください。

電源を接続する場合は、漏電遮断器（RCD）に接続されたコンセントのみを使用してください。

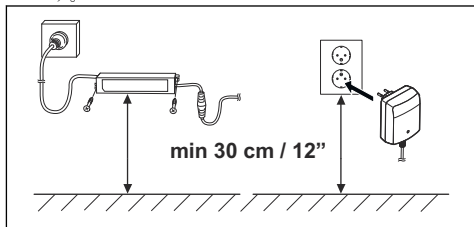
1. チャージステーションに関する指示を読み、理解してください。「チャージステーションの設置場所について 15 ページ」を参照してください。
2. 選択した場所にチャージステーションを置きます。
3. チャージステーションの前面にあるハッチを開きます。
4. チャージステーションの上部を取り付けます。



5. チャージステーションの上部を持ち上げて傾けます。
6. ケーブルの付いたグロメットを所定の位置に置きます。
7. ケーブルをチャージステーションに接続します。



8. 低電圧ケーブルをチャージステーションに接続します。
9. チャージステーションの前面にあるハッチを閉じます。
10. 電源装置を 30 cm / 12 インチ以上の高さに置きます。

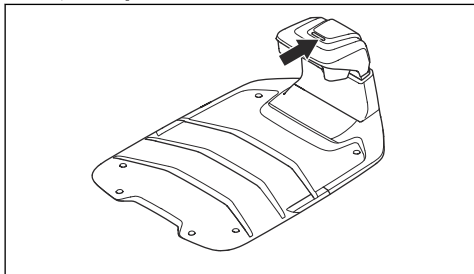


11. 電源装置を 100～240V の電源コンセントに接続します。

12. ケーブルをペグで地面に固定するか、または地中に埋めます。
13. 付属のネジを使用してチャージステーションを地面に固定します。

3.10.2.2 チャージステーションを目視点検する方法

1. チャージステーションの LED インジケータランプが緑色に点灯していることを確認します。LED インジケータの詳細については、「チャージステーションの LED インジケータ 54 ページ」を参照してください。



2. LED インジケータランプが緑色に点灯していない場合は、設置状態を確認します。チャージステーションの LED インジケータ 54 ページおよびチャージステーションの設置 18 ページを参照してください。

3.10.3 本製品の充電

1. 本製品をチャージステーションに入れます。

注記： 本製品がチャージステーションに入ると、自動的に充電が開始されます。

3.10.4 Automower® Connect アプリとのペアリング操作

1. Automower® Connect アプリをモバイルデバイスにダウンロードします。
2. Automower® Connect アプリで Husqvarna アカウントにサインアップし、指示に従います。
3. 工場出荷時の PIN コード 1234 を本製品に入力します。
4. 本製品のジョグホイールを使用して Bluetooth® メニューを選択し、ペアリング操作モードを有効にします。
5. Automower® Connect アプリで [My mowers (登録した芝刈機)] を選択し、本製品を追加します。
6. Automower® Connect アプリの指示に従ってください。

注記： Husqvarna は、工場出荷時の PIN コードをアプリで新しい PIN コードに変更することをお勧めします。

3.10.5 EPOS plug-in の設置

Automower® EPOS™ Plug-in の取扱説明書に記載されている設置手順に従ってください。

3.10.6 Automower® Connect アプリの EPOS™ を有効にする方法

Automower® Connect アプリの EPOS™ を有効にして、仮想境界を使用した設置を行います。

1. Automower® Connect アプリで、[Settings (設定)] > [Accessories (アクセサリ)] > [EPOS™ Technology (EPOS™ 技術)] の順に選択します。

3.10.7 リファレンスステーションの設置

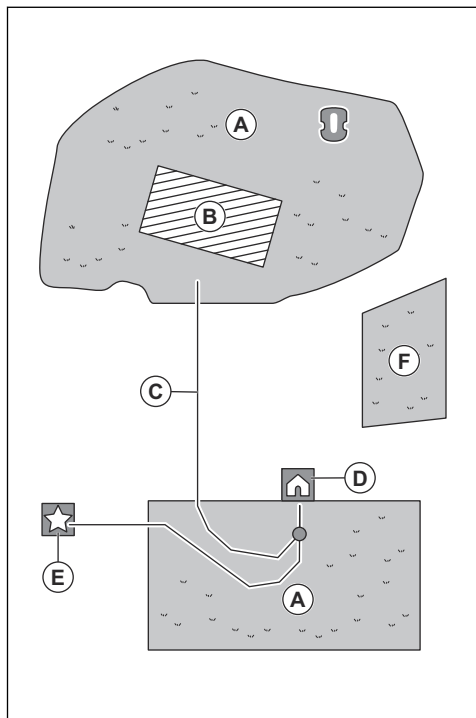
リファレンスステーションの取扱説明書に記載されている指示に従って、リファレンスステーションを設置してください。

3.10.8 地図オブジェクトの設置

地図オブジェクトの設置に関する指示を読み、理解してください。「地図上での物体の設置 21 ページ」を参照してください。

地図上に、アプリでフォローする物体を設置できます。

- 作業エリア (A)
- 進入制限ゾーン (B)
- 輸送経路 (C)
- チャージステーション (D)
- メンテナンスポイント (E)
- 作業エリア (セカンダリエリア) (F)



完全な地図をインストールするには、地図上に作業エリアとチャージステーションを設置する必要があります。

作業エリアは、仮想境界によって指定されます。最大 20 作業エリアとセカンダリエリアを地図上に設置できます。

作業エリアには、次の 2 つのタイプがあります。

- チャージステーションがある作業エリア、または本製品が自動的に動作する輸送経路がある作業エリアに接続された作業エリア。
- セカンダリエリアとは、チャージステーションと輸送経路がない作業エリアです。本製品を手動で動かして、作業エリアを行き来させる必要があります。

輸送経路とは、チャージステーション前のドッキングポイントと作業エリア間の指定経路です。本製品はこの経路内で自動的に作動しますが、芝を刈ることはありません。輸送経路は、アプリで一時的に有効または無効にすることができます。

本製品を稼働させないエリアがある場合は、進入制限ゾーンを設置します。進入制限ゾーンは、仮想境界によって指定されます。進入制限ゾーンは、アプリで一時的に有効または無効にできます。

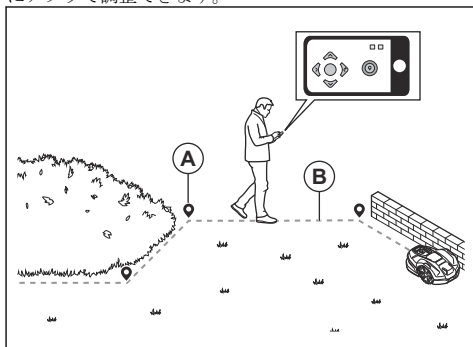
メンテナンスポイントとは、本製品を駐車できる指定位置のことです。これは、本製品のメンテナンスを行うサービスポイントなどに使用できます。メンテナンスポイ

ントは、経路を使用してドッキングポイントと接続します。

地図上に物体を設置するには、**appDrive** 装置を使用して製品を操作し、地図上に通過点を追加します。「**地図上での物体の設置 21 ページ**」を参照してください。

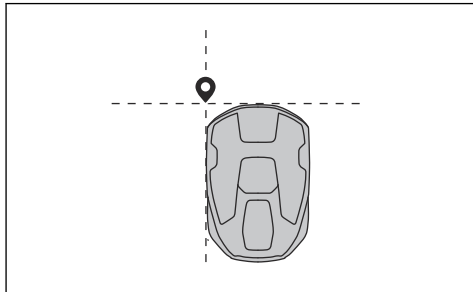
3.10.8.1 地図上での物体の設置

通過点 (A) は、仮想境界と経路 (B) を作成する位置です。線は、通過点間で直線になります。使用する通過点はできるだけ少なくすることをお勧めします。各作業エリア、関連する進入制限ゾーンおよび輸送経路に関して、通過点の合計最大数は 800 です。**Husqvarna** は、地図を完全にインストールするために、最大 1,000 の通過点を追加することをお勧めします。曲線を滑らかにするには、複数の通過点を使用します。**Husqvarna** は、通過点間の距離を 30 cm (1 フィート) 以上に設定することをお勧めします。通過点の位置は、地図のインストール後にアプリで調整できます。



注意： 地図オブジェクトをインストールするときは、通過点間で本製品を持ち上げたり移動したりしないでください。**appDrive** を使用して正しく設置してください。

注記： 作業エリアまたは進入制限ゾーンを設置するときのウェイポイントの位置は、本製品の左前隅になります。



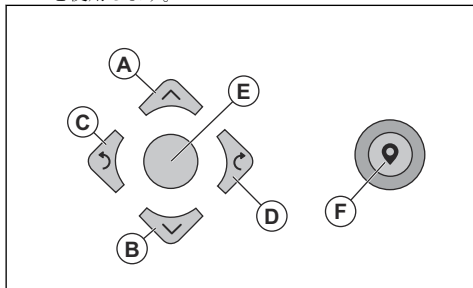
注記： 輸送経路またはメンテナンスポイントへの経路を設置するときの通過点の位置は、本製品の駆動ホイール間の中心です。



- 自分が製品の近くにいて、Bluetooth®によりアプリで本製品に接続していることを確認してください。
- ステータスが **EPOS™ 確認済み**であることを **appDrive** で確認します。

注記： Bluetooth® 機能を備えたゲームコントローラーを **appDrive** とともに使用して、本製品を操作できます。

- 設置する物体を選択し、**appDrive** 装置のボタンで本製品を操作します。
- 本製品を前進させるには、**上ボタン (A)** を使用します。
- 本製品を後退させるには、**下ボタン (B)** を使用します。
- 本製品を左旋回させるには、**左矢印ボタン (C)** を使用します。
- 本製品を右旋回させるには、**右矢印ボタン (D)** を使用します。
- **中央のボタン (E)** をジョイスティックとして使用すると、本製品を任意の方向に移動および回転させることができます。
- 地図に通過点を追加するには、**通過点ボタン (F)** を使用します。

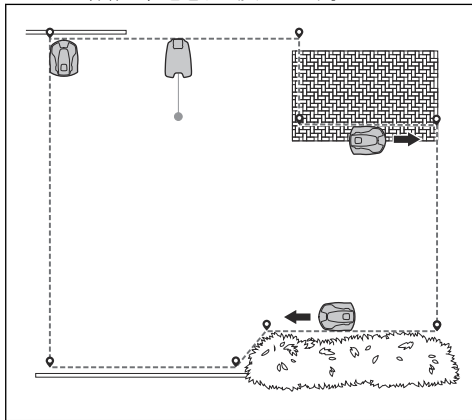


注記： **appDrive** を使用して本製品を操作するときは、本製品の **2-3 m/6.5-9.8 フィート** 後ろを歩いてください。

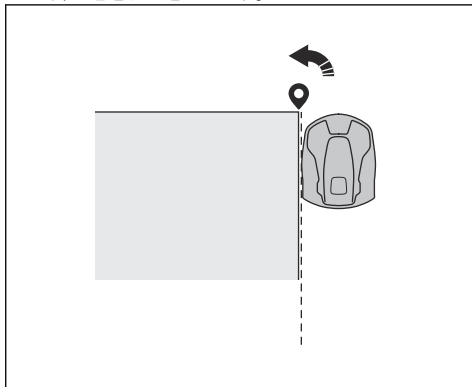
作業エリアを作成する

作業エリアを作成するには、**3 つ以上**の通過点が必要です。

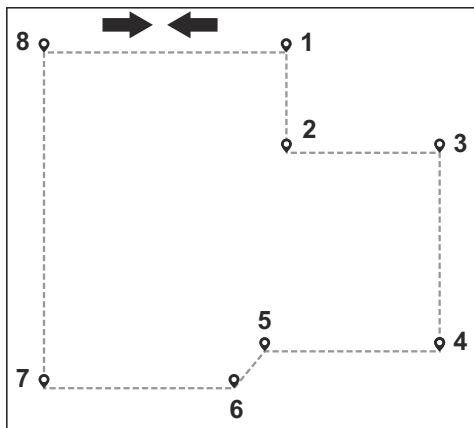
- 作業エリアの境界線を中心として、時計方向に本製品を操作し、通過点を設定します。



- 角部分の周囲に仮想境界を設置するために、外側の角に通過点を追加します。



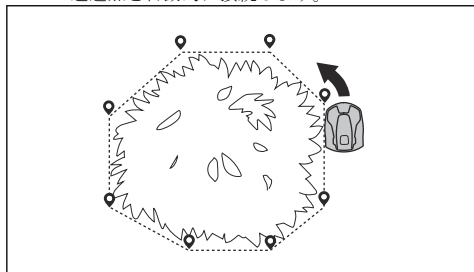
- 仮想境界を形成する通過点を、同じ作業エリア内の仮想境界を横切るように設定しないでください。
- 作業エリアを保存して、仮想境界の最初と最後の通過点を自動的に接続します。



進入制限ゾーンを作成する

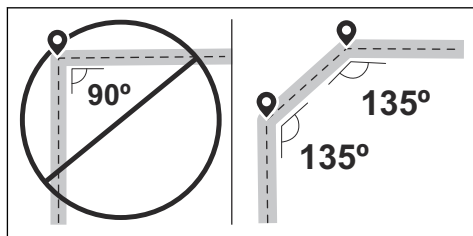
進入制限ゾーンを作成するには、3 つ以上の通過点が必要です。

- 進入制限ゾーンの境界付近で、本製品を反時計回りに操作します。
- 仮想境界を形成する通過点を、同じ進入制限ゾーン内の仮想境界を横切るように設定しないでください。
- 進入制限ゾーンを保存して、仮想境界の最初と最後の通過点を自動的に接続します。

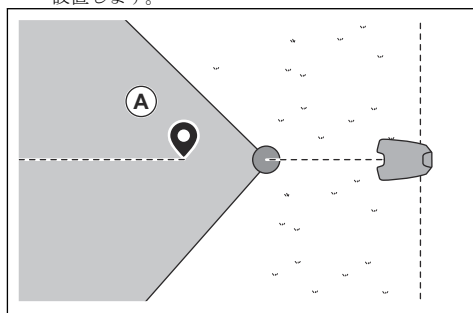


輸送経路を作成する

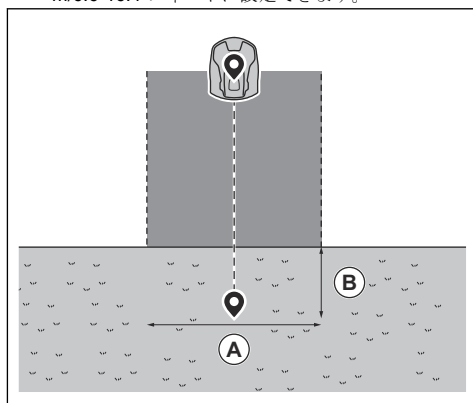
- 製品を操作して地図上に通過点を追加し、輸送経路を設置します。仮想境界から 1 m/3.3 フィート以上離れた作業エリアから開始します。
- 作業エリアの仮想境界に対して垂直に輸送経路を設置します。
- 進入制限ゾーンを横切るように輸送経路を設置しないでください。
- 輸送経路が同じ輸送経路を横切るような通過点を設置しないでください。
- 輸送経路を設置するときは、鋭角や直角を避けてください。Husqvarna では、滑らかな曲線を作成するために、さらに通過点を追加することをお勧めしています。



- 本製品を操作して通過点を追加し、輸送経路をドッキングポイントに接続します。
- ドッキングポイントから見て ± 45 度の角度内となるように、最後の通過点を輸送経路 (A) の上に設置します。



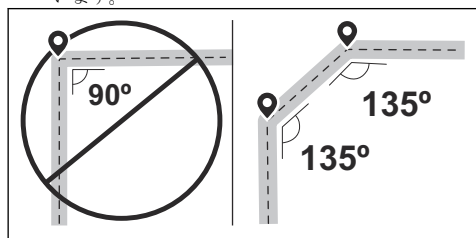
- 輸送経路を保存して、最後の通過点をドッキングポイントに自動的に接続します。
- 輸送経路の経路幅 (A) を設定します。経路幅は 2-5 m/6.6-16.4 フィートに設定できます。



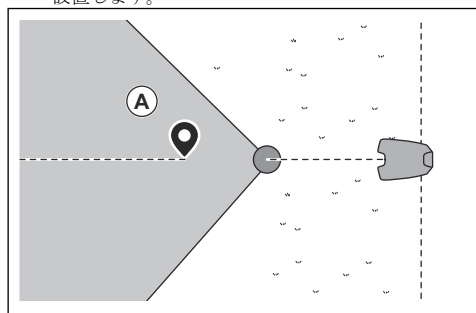
メンテナンスポイントを作成する

- 本製品を操作して、地図上に通過点を追加します。メンテナンスポイントを設置する位置で、通過点の追加を開始します。最初の通過点により、メンテナンスポイントが指定されます。
- 輸送経路を設置するときは、鋭角や直角を避けてください。Husqvarna では、滑らかな曲線を作成する

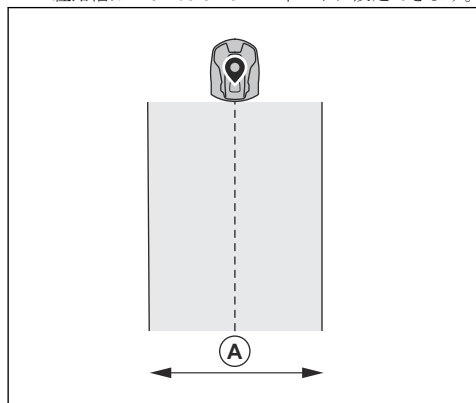
ために、さらに通過点を追加することをお勧めしています。



- 本製品を操作して通過点を追加し、チャージステーションまでの経路を作成します。
- ドッキングポイントから見て ± 45 度の角度内となるように、最後の通過点を輸送経路 (A) の上に設置します。



- メンテナンスポイントを保存して、最後の通過点をドッキングポイントに自動的に接続します。
- メンテナンスポイントの経路幅 (A) を設定します。経路幅は 2-5 m/6.6-16.4 フィートに設定できます。



4 境界ワイヤーを使用した設置

4.1 はじめに - 設置



警告： 本製品を設置する前に、安全に関する章を読んで理解してください。



注意： 純正のスペアパーツと設置器具を使用してください。

注記： 設置に関する詳細については、www.husqvarna.com を参照してください。

4.2 設置用の主要部品

設置には次の部品が必要です。

- 芝生を自動的に刈るロボット芝刈機。
- チャージステーションには、次の 3 種類の機能があります。
 - 境界ワイヤーに沿って制御信号を送信します。
 - ガイドワイヤーに沿って制御信号を送信することで、本製品がガイドワイヤーに従って庭の特定の離れた場所まで移動し、そこからチャージステーションまで戻る道のりがわかるようになります。
 - 本製品を充電します。
- チャージステーションおよび 100V～240V コンセントと接続した電源。
- ループワイヤーは、作業エリアや、物体や樹木の周りなど、本製品が避けるべき場所に敷設します。ループワイヤーは、境界ワイヤーとガイドワイヤーの両方に使用されます。

4.3 設置準備

設置を開始する前に、「設置」の章をお読みください。正常に動作するよう、慎重に本製品の設置準備を行ってください。

- 作業エリアの設置図を作成し、それにすべての障害物を含めておきます。これにより、チャージステーション、境界ワイヤー、ガイドワイヤー位置の検討が容易になります。
- チャージステーション、境界ワイヤー、ガイドワイヤーの設置場所を、この設置図に記入します。
- ガイドワイヤーを境界ワイヤーに接続する場所を設置図に記入します。ガイドワイヤーを取り付ける方法 31 ページを参照してください。
- 芝生の穴を埋めて水平にします。



注意： 芝生内に水が入っている穴があると、本製品が損傷するおそれがあります。

- Automower® 305E/310E NERA の場合、チャージステーションが Wi-Fi の範囲内にあることを確認してから、新しいファームウェアをダウンロードしてください。無線ファームウェアのダウンロード FOTA (Firmware over the air)³⁹ ページを参照してください。Automower® 405XE/410XE NERA では、FOTA に Wi-Fi または携帯電話技術が使われています。
- Automower® 305E/310E NERA の場合、Automower® Connect アプリをリモートで使用するには、作業エリアが Wi-Fi の範囲内であることを確認してください。Automower® Connect アプリとのペアリング操作 33 ページを参照してください。Automower® 405XE/410XE NERA では、Automower® Connect に Wi-Fi または携帯電話技術が使われています。

注記： 作業エリアを Wi-Fi の範囲内にすることをお勧めします。Wi-Fi の範囲内であれば、Automower® Connect アプリを使用して、本製品の制御や設定をリモートで行うことができます。本製品が Wi-Fi の範囲内にある場合、本製品は自動的に Wi-Fi に接続されます。

- 本製品を設置する前に、芝を刈り込んでトリミングしてください。このとき、芝は 6 cm / 2.5 インチ以下にする必要があります。

注記： 設置後の最初の数週間は、本製品が芝を刈るときに聞こえる騒音レベルが通常よりも高くなる可能性があります。しばらくすると、騒音レベルは下がります。

4.4 ワイヤーを設置する前に

ワイヤーの設置には、ペグを使用するか、または地中に埋めるか、どちらかの方法を選択することができます。同じ作業エリア内で、2 種類の方法を使用することもできます。



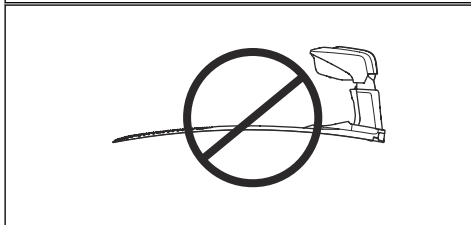
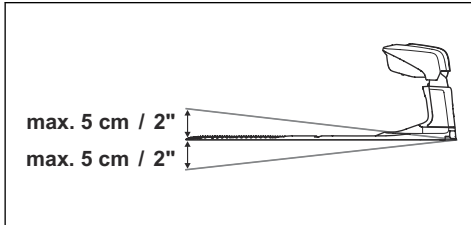
注意： 作業エリアでデサッチャーを使用する場合は、境界ワイヤーとガイドワイヤーの損傷を避けるためにワイヤーを地下に埋設してください。

4.4.1 チャージステーションの設置場所について

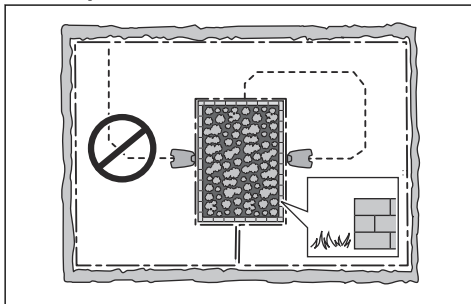
- チャージステーションの前には、3 m / 10 フィート以上の空きスペースを確保してください。ガイド

ワイヤーの敷設場所の検証 29 ページを参照してください。

- チャージステーション中央から左右に 150 cm / 60 インチ以上の空きスペースを確保してください。
- チャージステーションは、電源コンセントの近くに設置してください。
- チャージステーションは、平らな場所に設置してください。
- チャージステーションのベースプレートは曲げないでください。



- 作業エリアが急勾配の斜面により 2 つのセクションに分割されている場合は、低い方のセクションにチャージステーションを設置することをお勧めします。
- チャージステーションは、日光から保護されている場所に設置してください。
- チャージステーションをアイランドに設置する場合は、ガイドワイヤーをアイランドに接続してください。



4.4.2 電源装置の取り付け場所について



注意： 本製品のブレードが低電圧ケーブルを切断しないようにしてください。



注意： 低電圧ケーブルをコイル内やチャージステーションプレートの下に置かないでください。コイルはチャージステーションからの信号との干渉を引き起こします。



- 電源装置は、屋根があり、日光や雨から保護されている場所に取り付けてください。
- 電源装置は、適切な換気のある場所に設置してください。
- 電源装置を電源コンセントに接続する場合は、トリップ電流が 30 mA 以下の漏電遮断器 (RCD) を使用してください。

さまざまな長さの低電圧ケーブルが、アクセサリとして用意されています。

4.4.3 境界ワイヤーの敷設場所について



注意： 境界ワイヤーと水域、斜面、崖、または公道の間に 15 cm/6 インチ以上の保護壁を設ける必要があります。これは本製品の損傷を防ぐためです。



注意： 本製品は、砂利の上では使用しないでください。



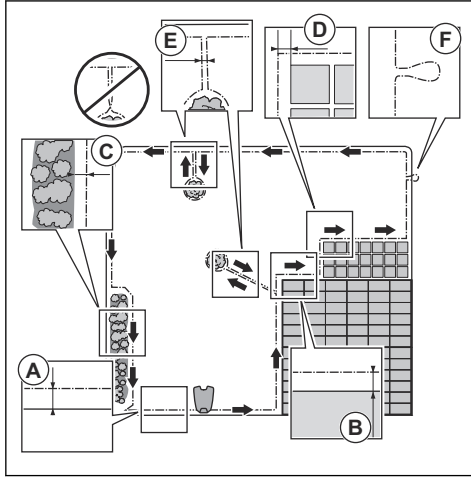
注意： 境界ワイヤーを取り付けるときに、ワイヤーを鋭角や直角に曲げず、緩やかに曲げてください。



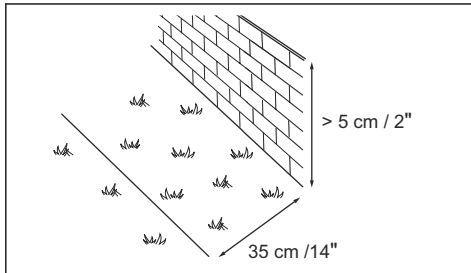
注意： 動作時に異音が発生しないようにするには、樹木や根、石などの障害物をすべて取り除いておいてください。

境界ワイヤーは作業エリアをひと続きに囲むように敷設する必要があります。EdgeCut を使用して適切な刈り込み結果を得るには、境界ワイヤーを障害物から適切な距離に設置する必要があります。本製品の EdgeCut による芝刈りは、境界ワイヤーのみで行います。樹木や障害物の周囲で EdgeCut を使用するには、樹木や障害物の周囲にアイランドを作成します。アイランドを作る方法 28 ページを参照してください。本製品が境界ワイヤーに近づいたことをセンサーが感知すると、本製品は別の方向を選択します。作業エリアのすべての部分は境界ワイヤーから 35 m/115 フィート以内でなければなりません。

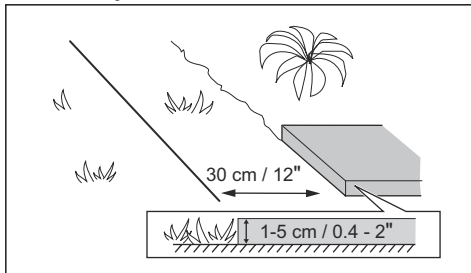
- 境界ワイヤーを作業エリア (A) の周囲に敷設します。境界ワイヤーと各障害物との距離を調整します。



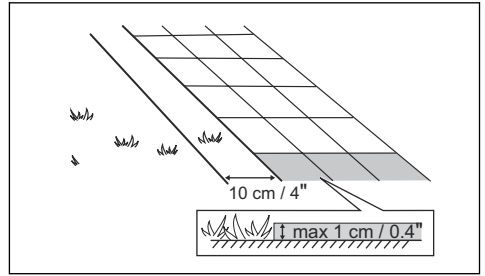
- a) 高さが 3 cm/1.2 より高い物体からは、境界ワイヤーを 35 cm/14 インチ (B) 離してください。



- b) 高さが 1-3 cm/0.4-1.2 の物体からは、境界ワイヤーを 30 cm/12 インチ (C) 離してください。



- c) 高さが 1 cm / 0.4 より低い物体からは、境界ワイヤーを 10 cm / 4 インチ (D) 離してください。



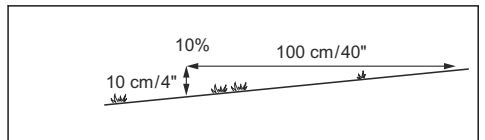
- 芝生と同じ高さの舗装石道がある場合は、境界ワイヤーを舗装石の下に敷設してください。
- アイランドを作る場合は、アイランドへ往復する境界ワイヤー 2 本を近い位置 (E) に敷設してください。アイランドを作る方法 28 ページを参照してください。
- ガイドワイヤーを境界ワイヤーに接続する場所に、アイルレット (F) を作成します。これにより、ガイドワイヤーと境界ワイヤー間の接続が容易になります。境界ワイヤーの約 20 cm/8 インチにアイルレットを設置します。

4.4.3.1 境界ワイヤーを斜面に設置する方法

急すぎる斜面は、境界ワイヤーで隔離する必要があります。勾配 (%) は、垂直高さを水平距離で割った値として計算されます。

例:

- 10 cm / 100 cm = 10%。
- インチ / インチ = 10%。



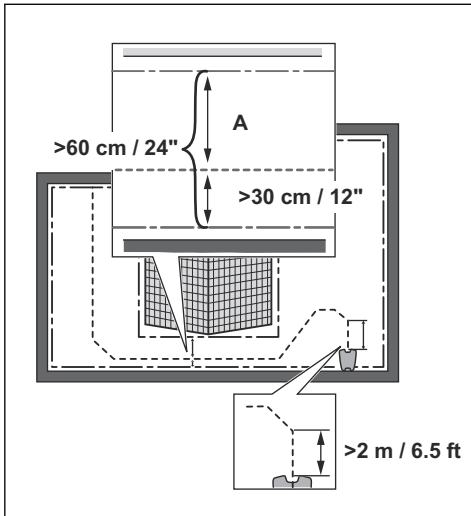
- 作業エリア内で勾配がきつすぎる場合は、周囲に境界ワイヤーを設置して斜面を分離します。
- 芝生の外側の勾配が 20% を超える場合は、縁から 20 cm (8 インチ) (A) の位置に境界ワイヤーを設置します。
- 公共の道路に隣接する斜面の場合は、斜面の外縁に 15 cm/6 インチ以上の保護壁を設置してください。壁またはフェンスを保護壁として使用することができます。

4.4.3.2 経路

経路とは、2 つの作業エリアを接続する、両側に境界ワイヤーが設けられたセクションです。経路の両側の境界ワイヤーの距離は 60 cm/24 インチ以上空ける必要があります。

注記： 経路の幅が 2 m/6.5 フィート未満の場合は、その経路内にガイドワイヤーを通してください。

ガイドワイヤーと境界ワイヤーは、30 cm/12 インチ以上空けることを推奨します。本製品は、常にチャージステーションに向かって左側のガイドワイヤーに沿って移動します。ガイドワイヤーの左側 (A) にできるだけ多くの空きスペースを設けてください。



4.4.3.3 アイランドを作る方法



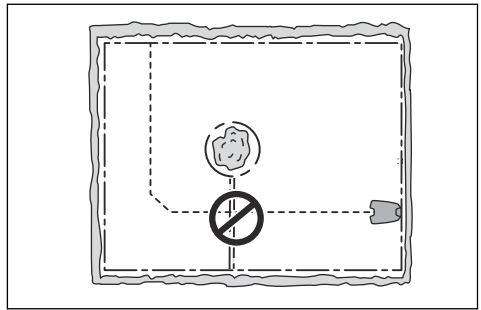
注意： 境界ワイヤー同士を交差させないでください。2 本の境界ワイヤーは平行でなければなりません。



注意： ガイドワイヤーと境界ワイヤーを交差させないでください。



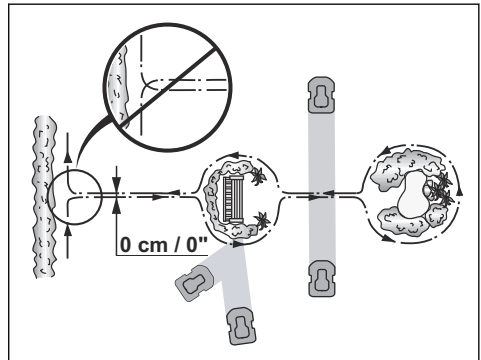
注意： 高さ 15 cm/5.9 インチ未満の障害物を隔離するか、取り除いてください。石、木、木の根など、わずかに傾斜している障害物を隔離するか、取り除いてください。これは本製品のブレードの損傷を防ぐためです。



アイランドを作るには、境界ワイヤーで作業エリアの一部を隔離します。作業エリア内のすべての障害物を隔離することをお勧めします。

高さ 15 cm/5.9 インチ以上の木や茂みなど、一部の障害物は衝突に耐えます。本製品はこのような障害物に衝突して新しい方向を選択します。

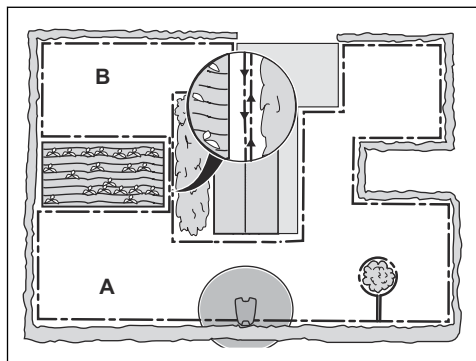
- 障害物の周りに境界ワイヤーを敷設して、アイランドを作ります。
- アイランドへ往復する境界ワイヤー 2 本は、互いに近づけて設置してください。これにより、本製品はワイヤーを横断します。
- この 2 本の境界ワイヤーは、同じペグに入れてください。



4.4.3.4 セカンダリエリアを作成する方法

作業エリアに、経路でつながっていない 2 つのエリアがある場合は、セカンダリエリア (B) を作成します。チャージステーションのある作業エリアが、メインエリア (A) です。

注記： メインエリアとセカンダリエリア間には、本製品を手動で移動させる必要があります。



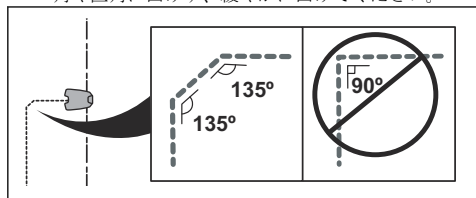
- 境界ワイヤーをセカンダリエリア (B) の周りに敷設して、アイランドを作ります。アイランドを作る方法 28 ページを参照してください。

注記： 境界ワイヤーは作業エリア全体 (A + B) をひとつのループとして囲むように敷設する必要があります。

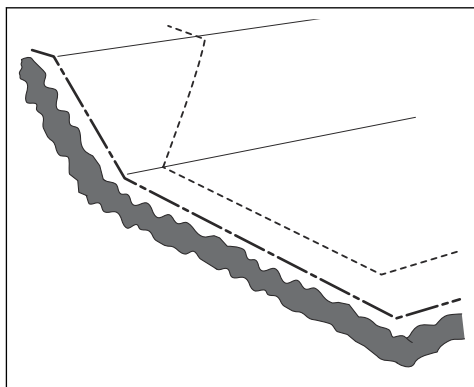
注記： セカンダリエリアで芝を刈る場合は、*[Secondary area (セカンダリエリア)]* モードを選択する必要があります。セカンダリエリア 40 ページを参照してください。

4.4.4 ガイドワイヤーの敷設場所の検証

- チャージステーションの前から最低 2 m / 6.5 フィート空けて、ガイドワイヤーをまっすぐに敷設します。
- チャージステーションの正面から見たときのガイドワイヤーの左側に、できるだけ広くスペースを取ってください。ガイドワイヤーを取り付ける方法 31 ページを参照してください。
- ガイドワイヤーは、境界ワイヤーから 30 cm / 12 インチ以上離してください。
- ガイドワイヤーを取り付けるときは、ワイヤーを鋭角や直角に曲げず、緩やかに曲げてください。

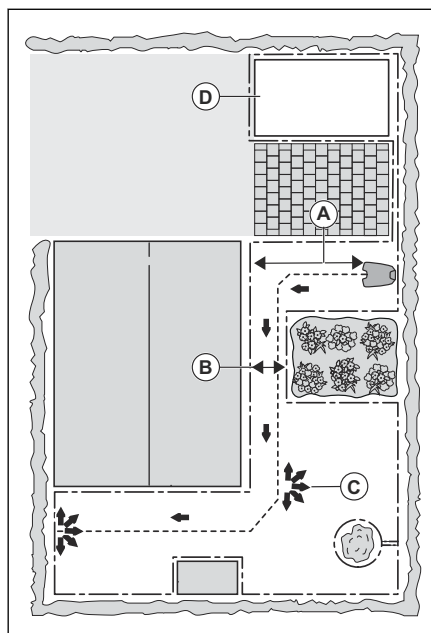


- 作業エリアに斜面がある場合は、ガイドワイヤーを斜面の対角線に配置します。



4.4.5 作業エリアの例

- チャージステーションが狭いエリア (A) に設置されている場合は、チャージステーションの前から境界ワイヤーまでの距離が 3 m / 10 フィート以上あることを確認してください。
- 作業エリアにガイドワイヤーを敷設していない経路 (B) がある場合は、境界ワイヤーの距離を 2 m / 6.5 フィート以上空けることをお勧めします。経路にガイドワイヤーが敷設されている場合は、境界ワイヤーの距離を 60 cm / 24 インチ以上空けることをお勧めします。
- 狭い通路 (B) でつながったエリアが作業エリアにある場合は、最初はガイドワイヤーに沿い、一定の距離 (C) を通過したらガイドワイヤーから離れるように本製品を設定できます。設定は芝生範囲 36 ページで変更できます。
- 本製品に搭載された GPS アシストナビゲーションは、運転の最適化に役立ちます。GPS アシストナビゲーション 36 ページを参照してください。
- 作業領域にセカンダリエリア (D) が含まれている場合は、セカンダリエリアを作成する方法 28 ページを参照してください。本製品をセカンダリエリアに置き、*[Secondary area (セカンダリエリア)]* モードを選択します。



4.5 本製品の設置

4.5.1 設置ツール

- ハンマー／プラスチックハンマー：杭を簡単に地面に打ち込むことができます。
- エッジカッター／まっすぐな鋤：境界ワイヤーを埋設します。
- コンビネーションプライヤー：境界ワイヤーを切断し、コネクタを圧着します。
- アジャスタブルプライヤー：カブラーを圧着します。

4.5.2 チャージステーションを設置する方法



注意： チャージステーションのプレートに新しく穴を開けないでください。



注意： チャージステーションのベースプレートに足を乗せないでください。



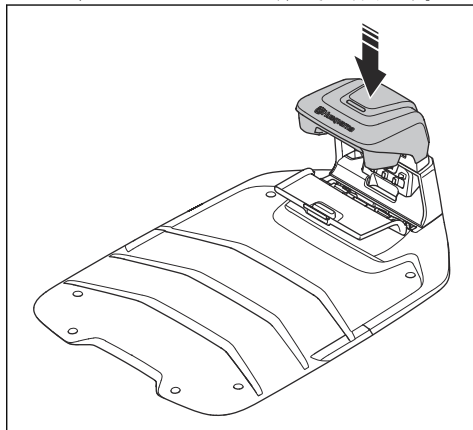
警告： 低電圧ケーブルと電源装置を接続する前に、プラグが清潔で乾燥していることを確認してください。

電源を接続する場合は、漏電遮断器（RCD）に接続されたコンセントのみを使用してください。

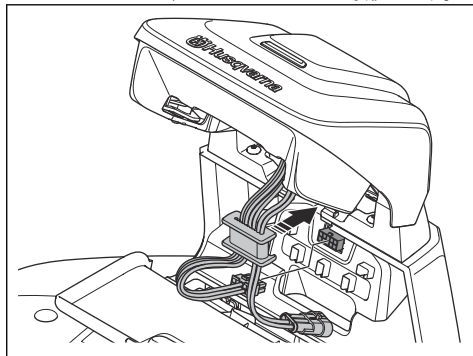
1. チャージステーションに関する指示を読み、理解してください。「チャージステーションの設置場所について 25 ページ」を参照してください。
2. 選択した場所にチャージステーションを置きます。

注記： ガイドワイヤーを取り付けるまで、ネジを使用してチャージステーションを地面に設置しないでください。「ガイドワイヤーを取り付ける方法 31 ページ」を参照してください。

3. チャージステーションの前面にあるハッチを開きます。
4. チャージステーションの上部を取り付けます。

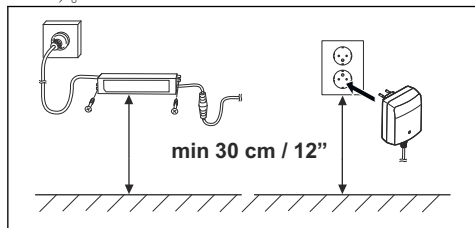


5. チャージステーションの上部を持ち上げて傾けます。
6. ケーブルの付いたグロメットを所定の位置に置きます。
7. ケーブルをチャージステーションに接続します。



8. 低電圧ケーブルをチャージステーションに接続します。
9. チャージステーションの前面にあるハッチを閉じます。

10. 電源装置を 30 cm / 12 インチ以上の高さに置きます。



11. 電源装置を 100～240V の電源コンセントに接続します。

注記： 境界ワイヤーを敷設中に、本製品をチャージステーションに駐車して充電できます。

12. ケーブルをベグで地面に固定するか、または地中に埋めます。「ベグを使ってワイヤーまたはケーブルを所定の位置に固定する 32 ページ」または「ワイヤーまたはケーブルを埋設する 32 ページ」を参照してください。
13. 境界ワイヤーとガイドワイヤーの敷設が完了したら、ワイヤーをチャージステーションに接続します。「境界ワイヤーを取り付ける方法 31 ページ」および「ガイドワイヤーを取り付ける方法 31 ページ」を参照してください。
14. ガイドワイヤーを取り付けた後、付属のネジを使用してチャージステーションを地面に設置します。「ガイドワイヤーを取り付ける方法 31 ページ」を参照してください。

4.5.3 本製品の充電

1. 本製品をチャージステーションに入れます。

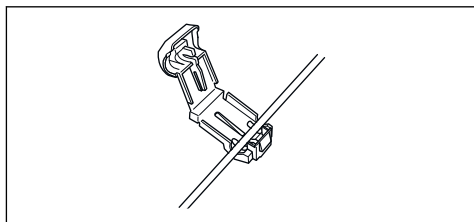
注記： 本製品がチャージステーションに入ると、自動的に充電が始まります。

4.5.4 境界ワイヤーを取り付ける方法

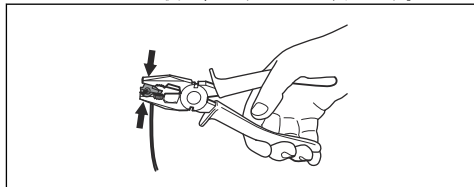


注意： 余ったワイヤーをコイル内に入れないでください。コイルが本製品に対する干渉を起こす場合があります。

1. 作業エリア全体の周囲に境界ワイヤーを設置します。この設置は、チャージステーションの後ろ側から始め、そこで終了するようにしてください。
2. コネクタを開き、境界ワイヤーをコネクタのグリップ内に配置します。



3. プライヤーを使い、コネクタを閉じます。



4. この境界ワイヤーを、それぞれのコネクタの 1-2 cm / 0.4-0.8 インチ上で切断します。
5. 右側のコネクタを、チャージステーションの「AR」というマークの付いた金属ピンに接続します。
6. 左側のコネクタを、チャージステーションの「AL」というマークの付いた金属ピンに接続します。

4.5.5 ガイドワイヤーを取り付ける方法



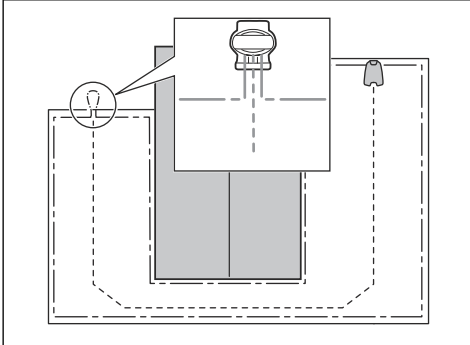
注意： ツインケーブルや絶縁テープで絶縁されたネジ式端子ブロックは、満足のいく接合ではありません。土に含まれる湿気でワイヤーが酸化し、一定期間が経過すると回路が損傷します。

1. コネクタを開き、ワイヤーをコネクタのグリップ内に配置します。
2. プライヤーを使い、コネクタを閉じます。
3. コネクタの 1-2 cm / 0.4-0.8 インチ上でガイドワイヤーを切断します。
4. コネクタを、チャージステーションの「G1/G2/G3」というマークの付いた金属ピンに接続します。

注記： Automower® 305E/310E NERA の場合は 2 本のガイドワイヤー、Automower® 405XE/410XE NERA の場合は 3 本のガイドワイヤーを設置できます。

5. チャージステーションを電源コンセントから取り外します。
6. チャージステーションから境界ワイヤーに接続する場所までガイドワイヤーを敷設します。

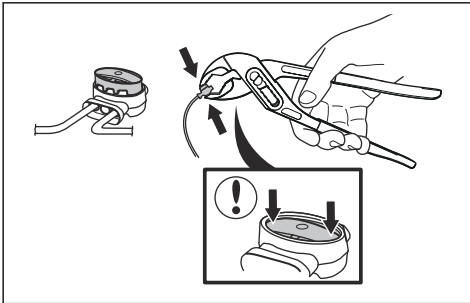
7. ガイドワイヤーをベグで地面に取り付けるか、または地中に埋めます。「ベグを使ってワイヤーまたはケーブルを所定の位置に固定する 32 ページ」または「ワイヤーまたはケーブルを埋設する 32 ページ」を参照してください。
8. ガイドワイヤーの端を、境界ワイヤーのアイレットに置きます。
9. ワイヤークッターを使用して、境界ワイヤーを切断します。
10. カプラーを使用して、ガイドワイヤーを境界ワイヤーに接続します。



- a) 境界ワイヤーの両端とガイドワイヤーの端をカプラーに入れます。

注記： ガイドワイヤーの両端がカプラーの透明部分を通っていることを確認してください。

- b) アジャスタブルプライヤーでカプラーのカバーを押し下げてカプラーにワイヤーを取り付けます。



11. チャージステーションを電源に接続します。

4.5.6 ベグを使ってワイヤーまたはケーブルを所定の位置に固定する



注意： ベグがワイヤーまたはケーブルを保持して地面に固定されていることを確認します。



注意： 設置直後に芝生を短く刈り込み過ぎると、ワイヤーまたはケーブルの絶縁を損傷するおそれがあります。絶縁を損傷しても、数週間または数ヶ月後まで作業中断が発生しないことがあります。

1. ワイヤーまたはケーブルを地面に配置します。
2. ベグを、75 cm / 30 インチ以下の間隔をあけて置きます。
3. ハンマーまたはプラスチックハンマーで、ベグを地面に打ち込みます。

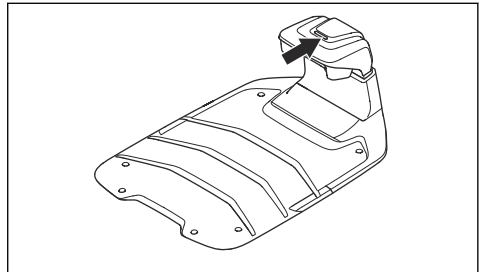
注記： 数週間後には、このワイヤーまたはケーブルは芝で覆われて見えなくなります。

4.5.7 ワイヤーまたはケーブルを埋設する

- エッジカッターまたはストレートシャベルで、地面に溝を切ります。
- 1-20 cm/0.4-8 インチの深さでワイヤーまたはケーブルを埋設します。

4.5.8 チャージステーションを目視点検する方法

1. チャージステーションの LED インジケータランプが緑色に点灯していることを確認します。LED インジケータの詳細については、「チャージステーションの LED インジケータ 54 ページ」を参照してください。



2. LED インジケータランプが緑色に点灯していない場合は、設置状態を確認します。チャージステーションの LED インジケータ 54 ページおよびチャージステーションを設置する方法 30 ページを参照してください。

4.5.9 Automower® Connect アプリとのペアリング操作

1. Automower® Connect アプリをモバイルデバイスにダウンロードします。
2. Automower® Connect アプリで Husqvarna アカウントにサインアップし、指示に従います。
3. 工場出荷時の PIN コード 1234 を本製品に入力します。
4. 本製品のジョグホイールを使用して Bluetooth® メニューを選択し、ペアリング操作モードを有効にします。
5. Automower® Connect アプリで [My mowers (登録した刈り機)] を選択し、本製品を追加します。
6. Automower® Connect アプリの指示に従ってください。

注記： Husqvarna は、工場出荷時の PIN コードをアプリで新しい PIN コードに変更することをお勧めします。

5 設定

本章では、Automower® Connect アプリで使用可能な本製品の設定について説明します。本製品のすべての設定は、Automower® Connect にあります。Automower® Access で一部の設定を行うこともできます（「Automower® Access のメニューツリーの概要 11 ページ」を参照）。本製品は工場出荷時に設定されていますが、各作業エリアに合わせて設定を変更できます。

5.1 スケジュール



[Schedule (スケジュール)] で、本製品のスケジュール設定を変更できます。

スケジュールツールは、作業エリアの面積に合わせてスケジュールを調整します。[Schedule (スケジュール)] 機能により、本製品の稼働時間を制御します。本製品は、稼働していないときはチャージステーションに駐車します。アプリのスケジュール概要で、製品が稼働する日時を確認できます。

5.1.1 システムチック芝刈りのスケジュールの設定方法

- 製品ができるだけ長時間稼働するようにスケジュールを設定します。

注記： 作業エリア全体の芝刈りを終えた後、本製品はチャージステーションに戻ります。次のセッションが開始されると、本製品は再び作業エリア全体を芝刈りします。

注記： セッションを終了する前に本製品が作業エリア全体を刈れなかった場合は、チャージステーションに戻ります。次のセッションが開始されると、本製品は停止した場所から芝刈りを続行します。

- スケジュールを 2 つ設定して、作業エリアの芝刈りを 1 日に 2 回行うこともできます。作業エリア全体の芝刈りを行うために十分な時間が確保されるよう製品のスケジュールを設定します。
- 2 つ以上のスケジュールを平行して設定すると、長い間芝刈りを行っていない場所から芝刈りを開始します。
- 本製品が各作業エリアの芝刈りを 24 時間以内に完了しているか確認してください。本製品が作業エリアの芝刈りを 24 時間以上する必要がある場合は、作業エリアをより狭い作業エリアに分割します。

5.1.2 不規則な芝刈りスケジュールの設定方法

本製品は、スケジュールされた時間すべてで不規則な芝刈りを行います。

- 芝の損耗を防ぐには、スケジュールされた時間を短くします。
- 刈り込みの仕上がりが不十分な場合は、運転時間を長くしてください。「スケジュール 34 ページ」を参照してください。
- 異なる作業エリアに平行して 2 つ以上のスケジュールを設定している場合、製品は最初に 1 つの作業エリアの芝刈りを開始します。製品を充電するたびに、別の作業エリアの芝刈りを開始します。

5.2 刈高



5.2.1 刈高の調整

刈高は、2 cm/0.8 インチから 5.5 cm/2.2 インチまで調整できます。



注意： 新規設置後の最初の数週間は、ループワイヤーを損傷しないように、刈高を 5.5 cm/2.2 インチに設定する必要があります。その後、毎週刈高を下げるができます。

5.2.2 TargetHeight

TargetHeight 機能を使用すると、10 日間の間に、刈高が最高値から指定された刈高に徐々に下がります。この期間中に手動で刈高を変更すると、TargetHeight 機能が無効化されます。

5.3 パターン



EPOS を使用して設置する場合、各作業エリアの芝刈りのパターンを設定することができます。次の設定が可能です。

- 製品の動作パターンを設定します。
- パターンによっては、方向の設定が可能です。
- エッジを良好に仕上げるには、チェッカーボードや三角形などのパターンを使用します。これらの芝

刈りパターンにより、エッジを両方向から刈り込むことができます。

- 斜面では、傾斜に対して **45 度** の角度で交互の芝刈りパターンを設定します。
- パターンによっては、**境界の芝刈り**の種類を設定できます。**固定境界**の芝刈りでは、製品は常に同じ経路で動作し、作業領域の周囲にシャープな境界線を維持します。**可変境界芝刈り**では、仮想境界に沿ってわだちが残りにくくなるように、異なる経路で芝を刈ります。

Husqvarna では、広い作業エリアや開放的な作業エリアの作業には、規則的なパターンの使用をお勧めしています。障害物のある作業エリアで規則的なパターンを使用する場合は、障害物の周囲に進入制限ゾーンを設け、可能な限り仕上がりが良好になるよう多方向に芝刈りを行うパターンを使用します。

Husqvarna では、作業エリアが複雑な場合や障害物が多い場合、または急斜面を含む場合に、不規則なパターンの使用をお勧めしています。

5.4 操作

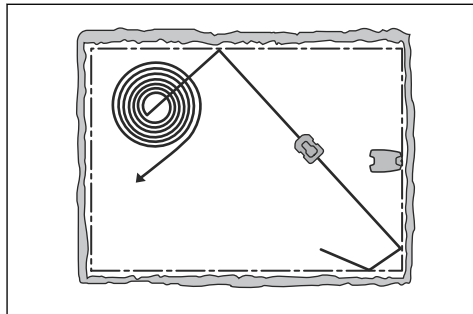


[*Operation* (操作)] では、本製品の動作設定を変更できます。

5.4.1 Spiral cutting (スパイラルカット)

スパイラルカットは、不規則なパターンの作業エリアにのみ適用されます。移動したエリアで芝が平均より長いと検知された際に、本製品の移動パターンをスパイラルカットに変えることができます。これにより、本製品は、スパイラルパターンで長い芝を素早く刈り込むことができます。スパイラルカットの強度を設定できます。強度を [Very low (最低)] / [Low (低)] にすると、スパイラルカットを行う頻度が低下します。強度を [High (高)] / [Very high (最高)] にすると、スパイラルカットを行う頻度が増加します。

注記： 勾配が **17%** を超える斜面では、スパイラルカットは開始されません。



5.4.2 障害物回避

障害物回避機能は、Automower® 405XE/410XE NERA でのみ使用できます。

障害物回避機能を有効にすると、本製品は芝生上のよりも高い物体を検知します。芝生上に物体を検知すると、本製品は転回し、別の方向で芝刈り続けます。作業エリアに適さない場合は、障害物回避機能を無効にできます。

注記： 障害物回避機能により、障害物の周囲の芝が刈られない場合があります。このセンサーは、作業エリア内の高い草花を障害物として検知する可能性もあります。

5.4.3 天候タイマー

天候タイマーにより、芝の成長具合に合わせて芝刈り時間が自動的に調整されます。本製品は、スケジュール設定より長く運転することはできません。

注記： 天候タイマーを使用する場合、天候タイマーの運転時間をできる限り長くすることをお勧めします。必要以上にスケジュールを制限しないでください。

1 日の最初の動作は、スケジュール設定で設定します。本製品は、常に 1 回の芝刈りサイクルを完了してから、引き続き動作するかどうか为天候タイマーにより決定されます。

注記： 製品が 50 時間以上動作を停止した場合、またはすべてのユーザー設定がリセットされた場合は、天候タイマーがリセットされます。スケジュール設定のリセットが行われても、天候タイマーは変更されません。

5.4.4 ECO モード

[*ECO mode* (ECO モード)] では、本製品の駐車中や充電中に、境界ワイヤー、ガイドワイヤー、チャージステーションの信号が無効になります。ループ信号が無効になっている場合、チャージステーションの LED インジケータは緑色に点滅します。

注記： *[ECO mode (ECO モード)]* は、電力を節約し、ヒアリングループやガレージドアなど、他の機器との干渉を防止するために使用します。

注記： 作業エリア内で本製品を手動で始動するには、最初にループ信号を有効にする必要があります。

5.4.4.1 ループ信号の有効化

1. 本製品をオンにします。
2. 本製品をチャージステーションに入れます。
3. **STOP** ボタンを押します。
4. 2秒待ってから、本製品をチャージステーションから取り外します。
5. チャージステーションの LED インジケータが緑色に点灯していることを確認します。
6. 芝刈りを開始する位置に本製品を置きます。

5.4.5 EdgeCut

本製品には EdgeCut が搭載されており、芝生端部を刈り込むことができます。芝が成長しないシーズンの間は、アプリで EdgeCut を無効にできます。

5.5 設置の設定



設置では、境界ワイヤーを使用した設置の設定を変更できます。

5.5.1 チャージステーションの探索

本製品は、3 種類の方法でチャージステーションを探すよう設定できます。

- チャージステーションの信号
- 境界ワイヤーに沿う
- ガイドワイヤーに沿う

工場出荷時には、この 3 つの検索方法を同時に使用するよう設定されています。工場出荷時の設定を使用した場合、可能な限り早くチャージステーションを見つけることができますとともに、芝生の上にわだちができるリスクが最小限になります。本製品は常にチャージステーションの信号の検索から開始します。指定された間隔の後には、ガイドに沿うと境界ワイヤーに沿うも使用します。

本製品がワイヤーに追従できない原因は次のとおりです。

- ワイヤーの近くの障害物が隔離されていない。
- チャージステーション、境界ワイヤー、ガイドワイヤーがチャージステーションを設置する方法 30 ページ、境界ワイヤーを取り付ける方法 31 ページ、

ガイドワイヤーを取り付ける方法 31 ページの指示に従って設置されていない。

5.5.1.1 チャージステーションの信号

設置場所によっては、チャージステーションの信号強度を下げる必要があります。たとえば、チャージステーションが低木や壁などの障害物の近くに置かれている場合などです。本製品は、障害物の反対側にあるチャージステーション信号を検出し、チャージステーションを探しますが、障害物がチャージステーションへの移動を妨げます。チャージステーション信号を *[min (最小)]*、*[avg (平均)]*、*[max (最大)]* に設定できます。

注記： Husqvarna では、チャージステーション信号を *[max (最大)]* に設定することをお勧めします。通常、チャージステーションの信号到達範囲を狭めるよりも、チャージステーションを移動する方が良い方法です。

5.5.1.2 ガイドワイヤーと境界ワイヤーの追従

本製品が境界ワイヤーとガイドワイヤーを追従してチャージステーションの検知を開始するタイミングに関する時間間隔を設定できます。

5.5.2 芝生範囲

5.5.2.1 GPS アシストナビゲーション

本製品に搭載された GPS アシストナビゲーションは、最適な動作の選択を補助します。この機能は工場出荷時に有効になっています。芝生に対して手動設定を行う場合は、*[GPS Assisted Navigation (GPS アシストナビゲーション)]* を無効にして、エリア 1~5 の設定を行います。*[Systematic Passage Mowing (システマチック経路刈り)]* 機能を使用してエリア 1~5 の設定を行う場合は、*[GPS Assisted Navigation (GPS アシストナビゲーション)]* を無効にします。エリア 1~5 の設定 36 ページを参照してください。

5.5.2.2 エリア 1~5 の設定

狭い通路で接続している離れた部分（リモートエリア）が作業エリアに含まれる場合にこの機能を使用すると、作業エリアを適切に刈り込み、維持できます。芝生範囲機能は、作業エリアの離れた部分の芝を刈るために使用します。システマチック経路刈り機能は、狭い通路の芝を刈る際に使用します。これらの機能を使用するには、ガイドワイヤーを設置する必要があります。本製品が芝刈りをスタートする遠隔エリアを最大 5 つまで設定できます。

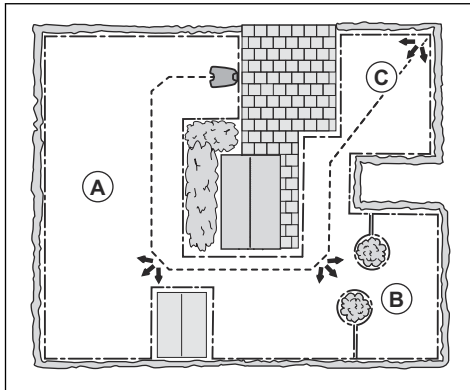
システマチック経路刈り機能は、60 cm~1.5 m / 23 インチ~ 4.9 フィートの狭い通路の芝刈りに適しています。本製品は、経路の幅全体を刈るために、パターンに沿って移動します。本製品は、チャージステーションから設定された距離で *[Systematic Passage Mowing (システマチック経路刈り)]* を開始します。狭い経路の終わりに到達すると、本製品は作業エリアで通常の芝刈りを継続します。

芝刈りを開始する前に、ガイドワイヤーに沿って指定した距離を刈るよう本製品を設定できます。

エリア A、約 50%

エリア B、約 30%

エリア C、約 20%



エリアごとに有効または無効にできます。テスト機能を使用して、チャージステーションから本製品の芝刈り開始地点までの距離を測定します。チャージステーションからの距離の測定 37 ページを参照してください。

デフォルト設定では、本製品はチャージステーションを離れる回数のうち 20% の割合でガイドワイヤーに 300 m/980 フィート追従します。ガイドワイヤーが 300 m / 980 フィートより短い場合、本製品は、ガイドワイヤーと境界ワイヤーが接続する地点までワイヤーに沿って進みます。

5.5.2.3 チャージステーションからの距離の測定

本製品は、ガイドワイヤーに沿ってチャージステーションまでの距離を測定します。

1. 本製品をチャージステーションに入れます。
2. [Test: [Area 1 setup (エリア 1 の設定)] または [Test: (テスト:)] [Area 2 setup (エリア 2 の設定)] で、距離を測定します。
3. STOP ボタンを押して、アプリに距離を表示します。

5.5.3 経路幅

境界ワイヤーの経路とは、境界ワイヤーに隣接するエリアです。本製品は経路を使用してチャージステーションを見つけます。経路幅は自動的に調整されます。本製品が適切に動作するよう手動で経路幅を調整する必要がある場合は、1~9 間の経路幅を設定できます。

5.5.4 後退距離

後退距離を設定すると、本製品は、設定した距離だけ後退してから芝刈りを開始します。

5.5.5 ワイヤーを通過

製品のフロント部は常に、境界ワイヤーとの間に指定されている距離を保って移動します。その後、本製品は後

方に移動して方向を変えます。工場出荷時の設定は 32 cm / 13 インチです。距離は 25-40 cm / 10-16 インチまで選択できます。

注記： *Drive Past Wire* (ワイヤーを通過) の距離を変更すると、作業エリアのすべての部分の境界ワイヤーに合わせて距離が変更されます。

5.6 アクセサリー



[Accessories (アクセサリ)] では、本製品のアクセサリを設定を変更できます。

5.6.1 ヘッドライト

ヘッドライトは、Automower® 405XE/410XE NERA でのみ使用できます。

ヘッドライトをいつ点灯するかをコントロールする設定には、以下の 4 つがあります。

- 常時オン
- 夜のみ (19 : 00~00 : 00)
- 夜から朝 (19 : 00~07 : 00)
- 常時オフ

デフォルトの設定は [Always on (常時オン)] です。エラーが発生した場合は、ヘッドライトを点滅に設定できます。

5.6.2 Automower® ハウスとの衝突の回避

このオプションが有効になっている場合は、本製品と Automower® ハウスの摩擦が減りますが、チャージステーション周囲で芝を刈り取らない部分が広くなります。

5.7 一般



[General (一般)] メニューでは、時刻や日付を設定したり、工場出荷時の設定にリセットしたりできます。

このメニューは、モバイルデバイスが Bluetooth® で製品に接続されている場合のみ使用できます。

5.7.1 Time & date (時刻 & 日付)

時刻と日付は手動で変更することも、モバイルデバイスの時刻と日付を使用して変更することもできます。

5.7.2 工場設定へのリセット

ユーザー設定は、リセットして工場出荷時の設定に戻すことができます。

注記： PIN コード、ループ信号、メッセージ、および日付と時刻はリセットされません。

5.8 セキュリティ



セキュリティ設定で、PIN コード、GeoFence、その他のセキュリティ機能を制御します。[Security (セキュリティ)] メニューにアクセスするには、正しい PIN コードを入力する必要があります。

このメニューは、モバイルデバイスが Bluetooth® で製品に接続されている場合にのみ使用できます。

5.8.1 新規ループ信号

本製品とチャージステーションの間で一意のリンクを作成するため、ループ信号がランダムに選択されます。ごくまれに、隣接する 2 つの装置で非常に類似した信号を使用している場合など、新しい信号を生成することが必要になる場合があります。

5.8.2 PIN コードの変更

PIN コードは変更できます。新しい PIN コードをメモに記録します。参照：はじめに 7 ページ。

5.8.3 盗難防止

[Theft protection (盗難防止)] メニューで、アラーム持続時間およびアラームをトリガーするイベントを設定することができます。工場出荷時の設定では PIN コードが必要で、アラームの持続時間は 1 分です。

5.8.3.1 PIN コードを要求

これは、[STOP (ストップ)] ボタンを押した後は、正しい PIN コードを入力しないと、本製品を操作したり制御したりできなくなるという機能です。間違った PIN コードを連続して 5 回入力すると、本製品は一時的にロックされます。新しく不正な試行が行われるたびに、ロック時間が延長されます。

5.8.3.2 アラーム持続時間

アラーム信号を持続させる時間を設定できる場合があります。1 分から 10 分の間で設定できます。

5.8.3.3 ストップボタン押下状態

アラーム「STOP button pressed (ストップボタン押下状態)」が有効になっている場合は、誰かが [STOP (ストップ)] ボタンを押し、その後 30 秒以内に PIN コードが入力されないと、このアラームが出されます。

5.8.3.4 持ち去り

アラーム「Carried away (持ち去り)」が有効になっている場合に本製品が想定外の動きを感知すると、このアラームが出されます。

5.8.4 GeoFence

GeoFence は、本製品のための仮想フェンスを作る、GPS ベースの盗難防止機能です。本製品が、中心位置から設定距離以上に離れている場合、本製品は無効化され、アラームが作動します。GeoFence が有効な場合、中心位置は本製品の現在位置に設定されます。アラームを停止して本製品を起動するには、PIN コードが必要です。本製品の電源をオンにしたときのみ、GeoFence は有効化されます。

5.9 Automower® Connect



Automower® Connect では、Automower® Connect 機能を有効または無効にできます。製品を Wi-Fi ネットワークに接続できます。信号強度と接続ステータスも表示できます。

このメニューは、モバイルデバイスが Bluetooth® で製品に接続されている場合にのみ使用できます。

5.10 メッセージ

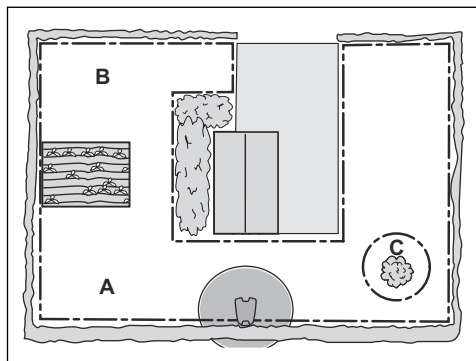
このメニューでは、過去の障害および情報メッセージを表示できます。一部のメッセージでは、障害の是正に役立つヒントやアドバイスが表示されます。

何かに引っかかったりバッテリー残量が不足したりなど、何らかの理由で本製品に障害が発生した場合は、その障害についてのメッセージと発生時刻が保存されます。

同じメッセージが数回繰り返された場合は、設置場所または本製品に対する調整が必要であるかもしれません。はじめに - 設置 13 ページを参照してください。

5.11 Automower® Intelligent Mapping (AIM)

Automower® Intelligent Mapping (AIM) は Automower® Connect アプリで使用できます。本製品のテクノロジーでは、GPS などさまざまなセンサーを使用します。マップの精度は約 1 m/3.3 フィートです。



AIM の一部の機能は次のとおりです。

- Automower® Connect アプリに、芝生のマップ、チャージステーション、境界ワイヤー、ガイドワイヤー、アイランドが表示されます。
- 作業エリアごとにスケジュールと刈高を設定できる設置場所に作業エリア (A) と (B) を作成できます。これは、Automower® 405XE/410XE NERA でのみ使用できます。
- 本製品が入れず、芝を刈ることのできない立ち入り禁止ゾーン (C) を作成できます。これは、Automower® 405XE/410XE NERA でのみ使用できます。

注記： AIM 機能では、約 1 m/3.3 フィートの精度で、作業エリアと進入制限ゾーンを設定できます。

AIM マップのデータ収集が自動的に開始されます。本製品は、データを収集しながら動作し、マップは 1~2 週間で完成します。本製品が動作してデータを収集するときには、芝生上の動かせる障害物を取り除きます。ワイヤーまたはチャージステーションの設置場所を変更する場合は、新しいマップを作成する必要があります。Automower® Connect アプリの AIM の詳細をお読みください。

5.12 無線ファームウェアのダウンロード FOTA (Firmware over the air)

本製品には、新しいファームウェアを自動的にダウンロードする機能があります。新しいファームウェアが利用可能になると、アプリに通知が表示され、新しいファームウェアのインストールを選択できます。ファームウェア更新の進行中は、本製品の LED インジケータが点滅します。本製品に携帯電話による接続を使用していない場合は、チャージステーションへの駐車時に新しいファームウェアをダウンロードします。新しいファームウェアをダウンロードするには、本製品がチャージステーションで Wi-Fi に接続している必要があります。

5.13 芝刈りプロファイル

芝刈りプロファイルには、さまざまな設定を保存できます。複数の場所に 1 つの製品を使用する場合や、同じ位置で異なる設定がある場合に、この機能を使用します。芝刈りプロファイルには、製品設定、地図オブジェクト、およびそれらの設定が保存されます。

5.14 チャージステーションを地図上に再設置するには

チャージステーションを移動または交換する場合は、地図上にチャージステーションを再設置します。また、製品をチャージステーションにドッキングできない場合や、チャージステーションに接続できない場合にも再設置を行うことができます。

1. アプリで、[Map objects (地図オブジェクト)] > [Charge station (チャージステーション)] の順に選択します。
2. [Reinstall charging station (チャージステーションの再設置)] を選択します。

注記： Bluetooth® が有効になっている他のデバイスが、ペアリング操作に干渉することがあります。ペアリング操作に干渉が発生する場合は、他のデバイスの Bluetooth® を無効にします。

6 動作

最も頻繁に使用される操作設定は「Automower® Access」に記載されています。「Automower® Access 7 ページ」を参照してください。Automower® Connect アプリでは、すべての操作モードを使用できます。

6.1 本製品をオンにする



警告： 本製品を使用する前に、安全に関する章を読んで理解してください。

- ジョグホイールを 3 秒間押し続けます。
- ジョグホイールを使用して、PIN コードを入力します。

6.2 本製品の始動方法

1. **STOP** ボタンを押します。
2. **ジョグホイール**を使用して、PIN コードを入力します。
3. **[ジョグホイール]**を使用して、動作モードを選択します。「動作モード - Start (始動) 40 ページ」を参照してください。
4. **START** ボタンを押します。

注記： 設置後の最初の数週間は、芝を刈るときに感じる騒音レベルが予想よりも高くなる可能性があります。本製品が芝をしばらく刈り続けると、感じられる騒音レベルは大幅に低下します。

6.2.1 動作モード - Start (始動)

6.2.1.1 Main area (メインエリア)

動作モード *Main area* (メインエリア) を使用すると本製品は自動的に芝刈りと充電を実行します。

6.2.1.2 セカンダリエリア

動作モード *Secondary area* (セカンダリエリア) を使用するとセカンダリエリアの芝刈りが実行されます。本製品を手動でメインエリアとセカンダリエリアの間を移動させる必要があります。選択した期間、またはバッテリーが空になるまで、本製品は芝刈りを行います。

注記： 本製品がセカンダリエリアにあるときに充電するには、本製品をチャージステーションに手動で設置する必要があります。本製品は、バッテリーが充電されるとチャージステーションから出て停止します。本製品を始動するには、動作モードを選択する必要があります。

注記： バッテリーの充電後にメインエリアの芝を刈るには、本製品をチャージステーションに置く前に *Main area* (メインエリア) モードに設定します。

6.2.1.3 スケジュールのオーバーライド

Schedule (スケジュール) 設定を **24 時間**または **3 日間**一時的に上書きするには、動作モード *Override schedule* (スケジュールのオーバーライド) を使用します。

6.3 本製品の駐車

1. **STOP** ボタンを押します。
2. **ジョグホイール**を使用して、PIN コードを入力します。
3. **[ジョグホイール]**を使用して、駐車モードを選択します。「動作モード - Park (駐車) 40 ページ」を参照してください。
4. **START** ボタンを押します。

6.3.1 動作モード - Park (駐車)

6.3.1.1 Park until further notice (さらなる通知があるまで駐車)

動作モード *Park until further notice* (さらなる通知があるまで駐車) を使用すると、本製品はチャージステーションに戻ります。新しい動作モードを選択するまで、本製品はチャージステーションに駐車します。

6.3.1.2 スケジュールで開始

動作モード *[Start on next schedule* (スケジュールで開始)] を使用すると、本製品はチャージステーションに戻ります。本製品は、次の *Schedule* (スケジュール) 設定までチャージステーションに駐車します。

6.3.1.3 時間の選択

本製品はチャージステーションに戻り、選択した駐車時間の間留まります。この動作選択を使用することで、進行中の芝刈りサイクルを一時的に停止し、本製品をチャージステーションに駐車させることができます。

6.3.1.4 メンテナンスポイントに駐車する (EPOS™ が設置されている場合のみ)

メンテナンスポイントに本製品を駐車させて、メンテナンスを行うことができます。新しい動作モードを選択するまで、本製品はメンテナンスポイントに駐車し続けます。

6.4 本製品の停止方法

1. **STOP** ボタンを押して本製品とカッティングモーターを停止します。

6.5 本製品をオフにする

1. **STOP** ボタンを押して、本製品を停止します。
2. 必要に応じて PIN コードを入力します。
3. **[ジョグホイール]** を 3 秒間押し続け、本製品の電源をオフにします。ジョグホイールを使用して、ディスプレイのメニューで **[Power off (電源オフ)]** を選択することもできます。
4. ジョグホイールの LED インジケータランプが消灯していることを確認します。

6.6 バッテリーの充電

本製品が新品の場合や長期間の保管後は、バッテリーが空になっている可能性があります。本製品を始動する前に、バッテリーを充電してください。**Main area** (メインエリア) モードでは、本製品は自動的に芝刈りと充電を行います。

1. 本製品をオンにします。
2. チャージプレートが接点プレートと接触するように、本製品をチャージステーションに配置します。
3. 本製品のディスプレイまたは **Automower® Connect** アプリで、本製品が充電されていることを確認します。

7 メンテナンス

7.1 はじめに - メンテナンス



警告： 製品のメンテナンスを行う場合は本製品を OFF に設定します。



警告： 保護グローブを着用してください。

本製品の動作を改善し、耐用年数を延長するために、定期的に清掃し、摩耗した部品を交換してください。

本製品が新品の場合は、ブレードディスクとブレードを毎週点検してください。摩耗が少ない場合は、次回ブレードディスクとブレードを点検する間隔を長くすることができます。ブレードディスクとブレードに摩耗が多い場合は、より頻繁に定期点検を行ってください。

ブレードディスクが容易に回転し、ブレード端部が損傷していないことが重要です。ブレードの通常の寿命は、メインブレードディスクの場合は 3~6 週間、EdgeCut ブレードディスクの場合は 9~12 週間です。次の条件により、ブレードの寿命が増減します。

- 作動時間および作業エリアの寸法。
- 芝の長さと厚さ。
- 土壌、砂、および肥料の使用。
- 作業エリアの球果、ツール、石、根などの物体。

注記： ブレードの切れ味が悪い場合、芝刈りの結果が不十分になる可能性があります。ブレードの交換方法については、**ブレードの交換 44 ページ**を参照してください。

7.2 メンテナンスのスケジュール

メンテナンスのスケジュールには、本製品のサービスとメンテナンスの方法が記載されています。より良い動作のため、また製品寿命を延ばすために、メンテナンスのスケジュールに従ってください。

X = この取扱説明書に説明があります。

O = この取扱説明書には説明がありません。認定サービス代理店にご連絡ください。

準備	毎週	1 年に 1 回	3 年に 1 回
製品を清掃します。製品の清掃 43 ページを参照してください。	X		
本製品に損傷や摩耗がないことを確認します。	X		
ファームウェアのアップデートを行います。	X		
推奨される更新があるか、サービスメッセージを確認します。		O	
サービス			
ブレードを点検し、必要に応じてブレードとブレードのネジを交換します。ブレードの交換 44 ページを参照してください。	X		
チャージステーションの接点プレートとブレードを点検して研磨します。		X	
本製品のチャージプレートを点検して研磨します。		X	
本製品を保管する前に、バッテリーを完全に充電してください。バッテリーの充電 41 ページを参照してください。		X	
ホイールに磨耗がないか点検します。		O	
衝突ショックアブソーバーを点検して清掃します。フロント/リヤ衝突ショックアブソーバーの締付トルクを点検します。		O	
本製品が正しく取り付けられて、充電されていることを確認します。		O	
本製品の本体のチャージプレートのケーブルおよびコネクタを確認します。		O	
スキッドプレートとスキッドプレートのベアリングを点検します。		O	

準備	毎週	1年に1回	3年に1回
刈高調整システムのラバー製蛇腹を点検します。		○	
衝突ショックアブソーバーのラバー製蛇腹を点検します。		○	
衝突ショックアブソーバーのラバー製蛇腹を交換します。			○
エアフローフィルターを点検して清掃します。		○	
エアフローフィルターを交換します。			○
シャーシのネジの締付トルクを確認します。		○	
シャーシを開き、シールストリップをすべて交換します。			○
最後のステップ			
ソフトウェアサービストールを使用して、本製品の機能テストを行います。		○	

7.3 製品の清掃



注意： 本製品の清掃には高圧水を使用しないでください。清掃には溶剤を使用しないでください。

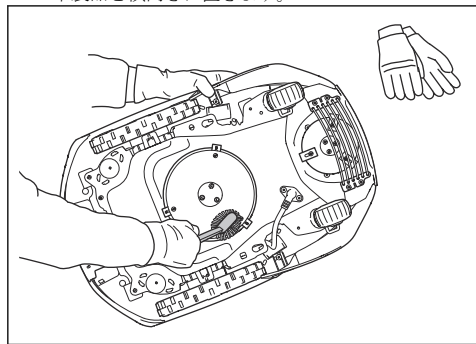
本製品は、ホイールに草が詰まっていると斜面で十分に動作しません。本製品をブラシまたは水ホースの流水で清掃します。

Husqvarna は、専用のクリーニング／メンテナンスキットの使用をお勧めします。詳しくは、Husqvarna 販売店までお問い合わせください。

7.3.1 ブレードディスクおよびブレードディスクガードの清掃

ブレードディスクとブレードの点検、およびブレードディスクガードの清掃は、毎週行ってください。

1. 本製品を横向きに置きます。

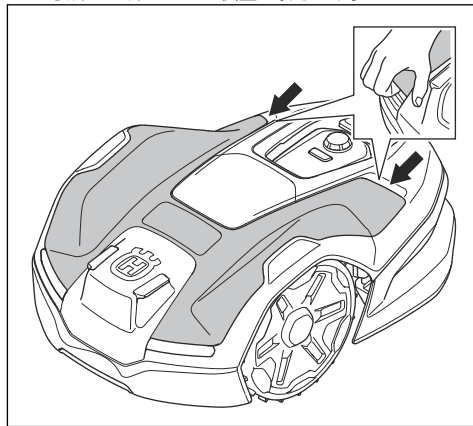


2. ブレードディスクとブレードディスクガードをブラシと流水で清掃します。

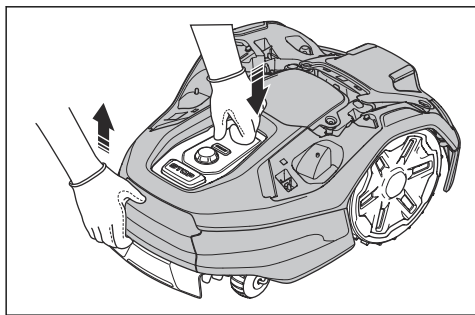
7.3.2 シャーシおよび製品本体の清掃

本製品全体を清掃するために、上部カバーと製品本体を取り外すことができます。本製品が汚れている場合は、必要に応じて薄めた石鹸水を使用してください。ブラシまたは水ホースで本製品を清掃してください。本製品の清掃には高圧水を使用しないでください。

1. 本製品をオフにします。
2. 後部の上部カバーを慎重に引きます。

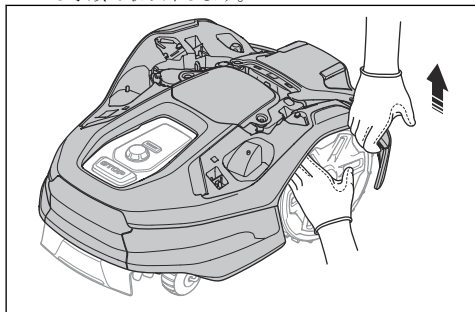


3. 片手でシャーシを持ち、本製品の前方に向かってすばやく短く引き上げて本体を取り外します。

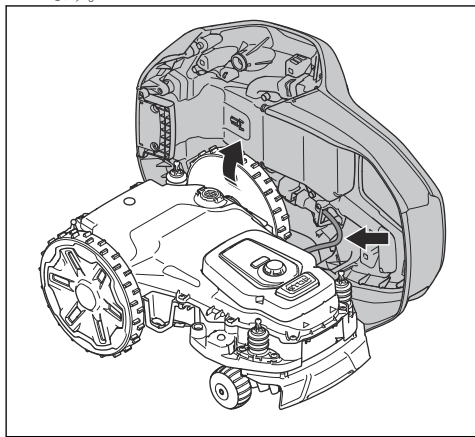


警告： 製品本体とシャーシの間に手を入れると、負傷の危険性があります。

4. フロントホイールを片手で押さえ、本体の前部をすばやく短く引き上げて取り外します。反対側も同じ手順で取り外します。



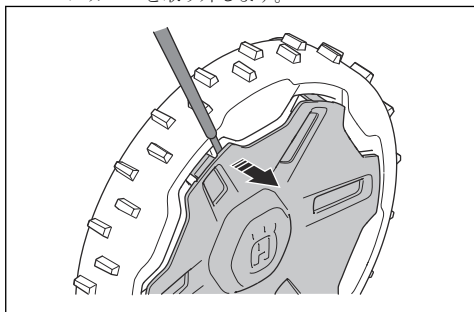
5. 製品本体はシャーシの近くに置か、壁に立てかけます。



7.3.3 ホイールの清掃

本製品は、ホイールに草が詰まっていると斜面で十分に動作しません。

- ホイールの清掃には柔らかいブラシを使用してください。
- 必要に応じて、マイナスドライバーを使用してホイールカバーを取り外します。



7.3.4 チャージステーションの清掃



警告： チャージステーションや電源装置のメンテナンスやクリーニングを行う場合は、電源装置をコンセントから外してください。

- 草や小枝などの異物をチャージステーションから取り除きます。
- ブラシまたは水ホースでチャージステーションを清掃します。

7.4 バッテリー



注意： 本製品を保管する前に、バッテリーを完全に充電してください。バッテリーが完全に充電されていないと、バッテリーが損傷するおそれがあります。

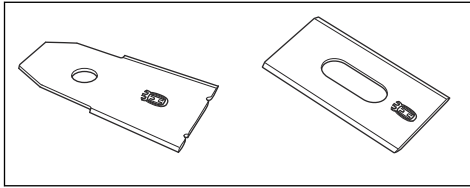
本製品の動作時間が通常の充電よりも短い場合、バッテリーの寿命が近づいていることを示しています。動作時間を長くするにはバッテリーを交換します。

注記： バッテリーの寿命は、稼働させる時期の長さや本製品を 1 日に稼働させる時間の長さに関連します。稼働させる時期が長い場合、または 1 日に稼働させる時間が長い場合は、バッテリーをより頻繁に交換する必要があります。

7.5 ブレードの交換



警告： Husqvarna は、王冠形の H マークが型押しされている Husqvarna の純正ブレードを使用する場合にのみ安全性を保証できます。

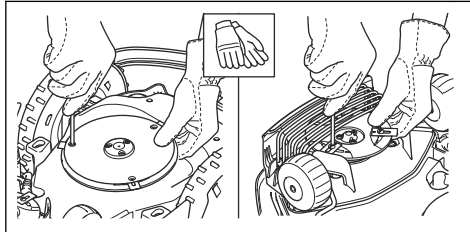


警告： ブレードを交換する場合は、ネジを交換する必要があります。使い古したネジはすぐに摩耗し、ブレードが緩むことがあります。これは、重傷の原因となる可能性があります。

安全な操作のため、磨耗または損傷したブレードは交換してください。十分な切断結果を確保しエネルギー使用量を低減するために、ブレードは定期的に交換してください。芝刈りシステムのバランスを取るため、**3 枚のブレードとねじ**をすべて同時に交換する必要があります。

7.5.1 ブレードの交換

1. 本製品をオフにします。
2. ブレードディスクを上にして、柔らかくきれいな面に本製品を置きます。
3. ブレードのネジが穴の位置に揃うまで、スキッドプレートを回します。
4. **3 枚のブレードと 3 本のネジ**を取り外します。



5. 新しいブレードとネジを取り付けます。
6. ブレードがスムーズに動くことを確認してください。

8 トラブルシューティング

8.1 メッセージ

Automower® Connect と Automower® Access に下の表のメッセージが表示されます。同じメッセージが頻繁に表示される場合は、Husqvarna 販売店にお問い合わせください。

メッセージ	原因	対応措置
ホイールモーターブロック, 右 <i>Wheel motor overloaded, left/right</i> (ホイールモーター過負荷, 左右)	駆動ホイールが草などの異物によってブロックされています。	駆動ホイールを点検して、草などの異物を取り除いてください。
<i>Wheel drive problem, right/left</i> (右/左ホイール駆動問題)		
<i>Cutting system blocked</i> (カッティングシステムブロック)	カッティングシステムに草などの異物が詰まっています。	カッティングシステムを点検し、草などの異物を取り除きます。
<i>Cutting height blocked</i> (刈高ブロック)	草などの異物が、刈高調整の周囲またはブレードディスクとシャーシの間に巻き付いています。	ブレードディスクや刈高調整の周囲のペローズを点検して、草などの異物が詰まっていれば取り除きます。
<i>Edge cutting system blocked</i> (エッジカッティングシステムのブロック)	エッジカッティングシステムが草などの異物によってブロックされています。	エッジカッティングシステムを点検して、草などの異物を取り除きます。
<i>Imbalanced edge cutting system</i> (エッジカッティングシステムのバランス不良)	本製品がエッジブレードディスクの振動を検出しました。	ブレードとネジに損傷や摩耗がないことを確認してください。すべてのブレードが正しく取り付けられていること、ブレードディスクの各位置にブレードが1つのみ取り付けられていることを確認してください。

メッセージ	原因	対応措置
No loop signal (ループ信号なし)	電源または低電圧ケーブルが接続されていません。	チャージステーションの LED ステータスを確認します。LED が点灯していない場合は、電気が来ていないことを示します。コンセントの接続を調べて、アースプレーカーが落ちていないかを確認してください。低電圧ケーブルがチャージステーションに接続されていることを確認してください。
	電源または低電圧ケーブルが損傷しています。	電源または低電圧ケーブルを交換します。
	ECO モードが有効になっている状態で、本製品がチャージステーションの外で始動しようとしました。	本製品をチャージステーションに入れます。本製品を始動します。
	本製品がチャージステーションのループ信号を検出できません。	本製品をチャージステーションに入れて、新しいループ信号を発生させます。境界ワイヤーを取り付ける方法 31 ページを参照してください。
	金属の物体（フェンス、補強鋼材）や埋設ケーブルからの干渉があります。	ワイヤーの設置では、境界ワイヤーを移動、および／または作業エリアのアイランドを増設することで、信号強度を高めることができます。 EPOS™ を使用した設置の場合、チャージステーションの位置を変更してください。
	ワイヤーの設置で、境界ワイヤーがチャージステーションに接続されていません。	境界ワイヤーコネクタがチャージステーションに正しく取り付けられているか点検してください。損傷がある場合、コネクタを交換してください。境界ワイヤーを取り付ける方法 31 ページを参照してください。
	ワイヤーの設置で、アイランドまでの経路上に境界ワイヤーが交差しています。	境界ワイヤーが正しく敷設されていることを確認します。ループ信号の有効化 36 ページを参照してください。
	ワイヤーの設置で、境界ワイヤーが破損しています。	チャージステーションの LED で信号を確認してください。LED が境界ワイヤーの破損を示している場合は、破損箇所を確認してください。純正のカブラーを使用して、ループの損傷しているセクションを新品のループワイヤーで接合して交換してください。境界ワイヤーを取り付ける方法 31 ページを参照してください。
	ワイヤーの設置で、製品が境界ワイヤーから離れすぎています。	作業エリアのすべての部分が境界ワイヤーから m/ フィート以内になるように設置を修正してください。

メッセージ	原因	対応措置
<i>Outside working area</i> (作業エリア外です)	チャージステーションまでの境界ワイヤーの接続が交差しています。	境界ワイヤーが正しく接続されていることを確認してください。 境界ワイヤーを取り付ける方法 31 ページを参照してください。
	境界ワイヤーが作業エリアの端に近すぎます。	境界ワイヤーが説明書に従って設置されていることを確認してください。 境界ワイヤーを取り付ける方法 31 ページを参照してください。
	境界ワイヤー、仮想境界、または仮想輸送経路が、急勾配エリアに設置されています。	
	アイランド周囲の境界ワイヤーの敷設が適切ではありません。	
	付近にある金属の物体 (フェンス、補強鋼材) や埋設ケーブルからの干渉があります。	境界ワイヤーを移動する、作業エリアのアイランドを増やすなどにより、信号強度を高めます。
	本製品が、近くにある他の製品の設置場所からの信号を区別することが困難になっています。	本製品をチャージステーションに入れて、新しいループ信号を発生させます。 新規ループ信号 38 ページを参照してください。
<i>Upside down</i> (上下反転)	本製品の傾きが大きすぎるか、ひっくり返っています。	本製品の上下を正しくしてください。
<i>Mower tilted</i> (芝刈機の傾き)	本製品が傾きすぎています。	本製品を平らなエリアに移動します。
<i>Lifted</i> (持ち上げられました)	本製品が持ち上がったため、リフトセンサーが作動しました。	製品本体がシャーシ上でスムーズに動くことを確認します。本体が持ち上がる原因となる障害物を取り除くか、障害物の周囲にアイランドを作成します。問題が解決しない場合は、販売店にご連絡ください。
<i>Trapped</i> (走行不能)	本製品は、複数の障害物の奥の狭い範囲で動けなくなっています。	本製品をその場所から動けなくしている障害物があるかどうかを確認してください。
<i>Slipped</i> (スリップ)	障害物が原因で本製品がスリップします。	障害物を取り除きます。
	草が濡れていて、本製品がスリップします。	芝生が乾燥するまで待つてから、本製品を再始動します。
	本製品が障害物に当たって停止したか、濡れた芝でホイールが動きません。	本製品を解放して、駆動力がなくなった原因を解消してください。濡れた草が原因であれば、芝生が乾いてから本製品を使用してください。
	斜面が急すぎるため、本製品がスリップします。	境界ワイヤーを使用して、急斜面を分離します。 境界ワイヤーを斜面に設置する方法 27 ページを参照してください。
	本製品がガイドワイヤーに沿って走行している際に傾斜が急すぎてスリップします。	ガイドワイヤーが斜面に対して斜めに設置されていることを確認します。 境界ワイヤーを斜面に設置する方法 27 ページを参照してください。
<i>Collision</i> (衝突)	製品本体がシャーシの周囲で自由に動くことができません。	製品本体がそのシャーシの周囲を自由に動くことを確認してください。製品本体が正しく取り付けられ、汚れが詰まっていないことを確認します。問題が解決しない場合は、販売店にご連絡ください。

メッセージ	原因	対応措置
Alarm! (注意!) Mower stopped (芝刈機の停止)	本製品が停止したため、アラームが作動しました。	PIN コードを入力してアラームを解除します。アラームの設定は [Security (セキュリティ)] メニューで変更できます。セキュリティ 38 ページを参照してください。
	本製品が持ち上げられたため、アラームが作動しました。	
	本製品が傾いたため、アラームが作動しました。	
Alarm! (注意!) Mower was moved (芝刈機が動かされました)	本製品が移動されたため、アラームが作動しました。	
Alarm! (注意!) GeoFence から外れています	本製品が GeoFence の外に出たため、アラームが作動しました。	
一時的な問題	電子関連またはファームウェアの一時的な問題が本製品に発生しています。	
Electronic problem (電気系の問題)	電子関連またはファームウェアの一時的な問題が本製品に発生しています。	FOTA を使用してファームウェアを更新します。本製品を再始動してください。問題が解決しない場合は、販売店にご連絡ください。
Loop sensor problem (ループセンサーの問題)		
Tilt sensor problem (傾斜センサー不具合)		
Invalid sub-device combination (無効なサブデバイス組み合わせ)		
STOP ボタン不具合		
接続の問題		
Safety function faulty (安全機能の不具合)		
Invalid system configuration (無効なシステム設定)		
Lift sensor problem (リフトセンサーの問題)		
Collision sensor problem (衝突センサーの問題)		
Radar problem (レーダーの問題)		
一時的なバッテリーの問題		

メッセージ	原因	対応措置
Battery problem (バッテリーの問題)	バッテリーまたはファームウェアの一時的な問題が本製品に発生しています。	本製品を再始動してください。問題が解決しない場合は、認定サービス代理店に相談してください。
	バッテリーのタイプが間違っています。	メーカーが推奨する純正バッテリーのみを使用してください。
Empty battery (バッテリー空)	境界ワイヤーを使用した設置で： 本製品がチャージステーションを見つけることができません。	ガイドワイヤーの位置を変更してください。 <i>ガイドワイヤーを取り付ける方法 31</i> ページを参照してください。 チャージステーションの探索方法について、設置時の設定を確認してください。チャージステーションの探索 <i>36</i> ページを参照してください。
	EPOS™ を使用した設置で： 本製品がチャージステーションを見つけることができません。	本製品の位置が正確ではなく、チャージステーションが見つかりません。 障害物によって、製品がチャージステーションを見つけれられません。
	バッテリーが消耗しています。	バッテリーを交換します。バッテリー <i>44</i> ページを参照してください。
	チャージステーションのアンテナに不具合があります。	チャージステーションのインジケータランプが赤色に点滅しているかどうか点検してください。 <i>ガイドワイヤーを取り付ける方法 31</i> ページを参照してください。
Battery needs replacement (バッテリーの交換が必要)	バッテリーの健全性状態が低下しています。	バッテリーを交換します。販売店にお問い合わせください。
Battery near end of life (バッテリーの寿命が近づいています)	バッテリーの健全性状態が大幅に低下しています。	バッテリーを交換します。販売店にお問い合わせください。
温度制限	バッテリーの温度が高すぎる、または低すぎる場合、本製品は動作しません。	温度が設定された範囲内にあり、スケジュール設定によって本製品の動作が許可されると、本製品は動作を再開します。チャージステーションの設置場所が日光から保護されていることを確認してください。
Charging current too high (高すぎる充電電流)	バッテリーの充電電流が高すぎます。電源装置が正しくないか、損傷しています。	電源装置とチャージステーションが損傷していないことを確認します。適切な電源装置とチャージステーションを使用していることを確認してください。本製品を再始動してください。問題が解決しない場合は、販売店にご連絡ください。
Charging system problem (充電システムの問題)	チャージプレートと接点プレートに腐食や汚れがあります。	本製品を再始動してください。本製品のチャージプレートおよびチャージステーションの接点プレートを清掃してください。
	電子関連またはファームウェアの一時的な問題が本製品に発生しています。	本製品を再始動してください。問題が解決しない場合は、認定サービス代理店に相談してください。

メッセージ	原因	対応措置
No power in charging station (チャージステーションの電力なし)	電源装置が正しくないか、損傷しています。	電源ユニットを点検します。必要に応じて交換します。
	電源の不具合です。	電源不具合の原因を特定して解決します。
	接点プレートとチャージプレートが接触していないため、製品を充電できません。	チャージプレートと接点プレートが接触していることを確認します。接点プレートとチャージプレートを清掃します。
Charging station blocked (ステーションブロック)	チャージステーションがブロックされているか、チャージステーションのベースプレートが傾いているか曲がっているため、製品がチャージステーションに入れません。	製品がチャージステーションに入ることができない理由を調べます。障害物を取り除き、チャージステーションのベースプレートが水平になっていることを確認します。
	チャージステーションがブロックされているか、チャージステーションのベースプレートが傾いているか曲がっているため、製品がチャージステーションに入れません。	製品がチャージステーションに入ることができない理由を調べます。障害物を取り除き、チャージステーションのベースプレートが水平になっていることを確認します。
Stuck in charging station (チャージステーションにスタック)	製品がブロックされているか、チャージステーションのベースプレート上でスリップしているため、製品がチャージステーションから離れられなくなっています。	製品がチャージステーションから離れられなくなっている理由を調べます。異物を取り除き、チャージステーションのベースプレートを清掃します。
FlexiFence の問題	FlexiFence アクセサリーのバッテリー残量が少なくなっています。 FlexiFence アクセサリーは、バッテリーが空の場合動作しません。 FlexiFence アクセサリーを充電する前に本製品を始動すると、進入制限ゾーンで芝刈りを行うことがあります。	本製品を始動する前に、本製品を駐車して FlexiFence アクセサリーを充電してください。
	FlexiFence アクセサリーの温度が上限を超えたため、オフに設定されました。	本製品は、日光から保護されている場所に設置してください。本製品を始動する前に FlexiFence アクセサリーの温度を下げてください。
Slope too steep (急すぎる斜面)	斜面が急すぎるため、本製品が停止しました。	境界ワイヤーの設置を変更して、この急斜面を作業エリアから除きます。
EPOS プラグインが見つからない	EPOS プラグインはインストール済みですが、検出できません。	EPOS プラグインが正しくインストールされ、ケーブルが接続されていることを確認します。本製品を再始動してください。問題が解決しない場合は、販売店にご連絡ください。
Charging station communication problem (チャージステーションの通信の問題)	芝刈機がチャージステーションと通信できません。	新規ループ信号を作成するか、アプリの[map view (マップビュー)]でチャージステーションを再インストールします。問題が解決しない場合は、販売店にご連絡ください。
	電源の不具合	電源不具合の原因を特定して解決します。
Invalid firmware configuration (無効なファームウェア設定)	本製品のファームウェアが更新されています。	ファームウェアを最新のバージョンにアップデートします。
地図の問題	地図オブジェクトファイルが正しくありません。	アプリの地図を点検します。地図を調整して保存してください。
		地図を削除して新たにインストールしてください。

メッセージ	原因	対応措置
Accessory power problem (アクセサリーの電源の問題)	アクセサリーポートに電源の問題があります。	本製品の電源を切り、アクセサリーをアクセサリーポートから取り外して、再度接続します。本製品を再始動してください。問題が解決しない場合は、販売店にお問い合わせください。
Destination not reachable (移動先到達不可)	作業エリアまでの経路上に、通行をブロックする進入禁止が設定されているため、本製品は移動先に到達できません。	進入制限ゾーンを編集または削除するか、作業エリアの設置をやり直します。
	EPOS™ を使用した設置で、作業エリアへの輸送経路がありません。	進入制限ゾーンを編集または削除するか、作業エリアの設置をやり直します。
	EPOS™ を使用した設置で、チャージステーションに戻る経路が障害物によりブロックされています。	障害物を取り除きます。
	EPOS™ を使用した設置で、メンテナンスポイントへの経路が障害物によりブロックされています。	
Destination blocked (移動先ブロック)	移動先への経路が障害物によりブロックされています。	移動先への経路で、ブロックしている障害物を取り除きます。
	移動先への経路が進入制限ゾーンによりブロックされています。	進入制限ゾーンを編集または削除するか、作業エリアの設置をやり直します。
	EPOS™ を使用した設置で、作業エリアへの輸送経路がありません。	作業エリアへの輸送経路を作成してください。
境界ワイヤーの問題	ワイヤーによるサポート機能の境界ワイヤーが損傷しているか、正しく設置されていません。	境界ワイヤーがチャージステーションに正しく接続されていることを確認します。境界ワイヤーのすべての接合を点検します。境界ワイヤーが損傷していないかを点検し、必要に応じて修理します。
予期しない刈高調整	刈高調整が動きません。	刈高調整を点検し、芝や異物を取り除いてください。問題が解決しない場合は、認定サービス代理店に相談してください。
Limited cutting height range (刈高範囲の制限)		
刈高の問題		
Cutting system imbalance (カッティングシステムのアンバランス)	本製品がブレードディスクの振動を検出しました。	ブレードとネジに損傷や摩耗がないことを確認します。すべてのブレードが正しく取り付けられていること、ブレードディスクの各位置にブレードが 1 枚のみ取り付けられていることを確認します。ブレードとカッティングディスクを清掃してください。

メッセージ	原因	対応措置
<i>Guide 1 not found (ガイド1が見つかりません)</i> <i>Guide 2 not found (ガイド2が見つかりません)</i> <i>Guide 3 not found (ガイド3が見つかりません)</i>	以前設置したガイドワイヤーが見つかりません。	ガイドワイヤーがチャージステーションまたは境界ワイヤーに正しく接続されていることを確認します。ガイドワイヤーに損傷がないことを確認します。ループワイヤーの損傷を発見 56 ページを参照してください。
<i>GPS navigation problem (GPS ナビゲーションの問題)</i>	GPS アシストナビゲーション装置に問題があります。	本製品を再始動してください。問題が解決しない場合は、販売店にご連絡ください。
<i>Weak GPS signal (GPS 信号微弱)</i>	作業エリアの大部分で GPS 信号が遮られています。	可能であれば、GPS 信号を妨げている障害物を取り除きます。 GPS ナビゲーション機能を無効にし、芝生範囲機能を使用してください。芝生範囲 36 ページを参照してください。
<i>Work area tampered (作業エリアの改ざん)</i>	チャージステーションまたはリファレンスステーションが移動されました。	地図を新たにインストールしてください。
通過点が多すぎます	現在の作業エリアでは、通過点が多すぎます。	作業エリア、進入制限ゾーン、および輸送経路を新たに設置します。現在の作業エリアを複数の作業エリアに分割してください。
修正データがありません	Husqvarna® Cloud の EPOS™ に技術的な問題があります。	本製品を再始動してください。問題が解決しない場合は、認定サービス技術者がメッセージに対処する必要があります。
	本製品に携帯電話接続がないため、修正データを受信できません。	本製品が動作するエリア全体が、携帯電話の通信可能範囲内にあることを確認してください。
位置の探索	リファレンスステーションへの衛星信号が弱くなっています。	衛星信号が一時的に弱い状態です。衛星信号が良好になると、製品が始動します。
		リファレンスステーションの設置を確認します。
	製品への衛星信号が弱くなっています。	衛星信号が一時的に弱い状態です。衛星信号が良好になると、本製品は始動します。 本製品と上空の間に、衛星信号に干渉する物体がないかどうかを確認します。物体を除去するか、新たに設置を行って、作業エリアにこれらの物体がないようにします。地図オブジェクトの設置 20 ページを参照してください。

メッセージ	原因	対応措置
リファレンスステーションの通信の問題	製品がリファレンスステーションに接続されていません。	製品とリファレンスステーションのペアリングを行います。
	リファレンスステーションが正しく設置されていません。	リファレンスステーションの設置を確認します。
	本製品が動作するすべてのエリアで、製品がリファレンスステーションからの無線信号を受信できません。	すべての作業エリアで、製品がリファレンスステーションからの無線信号を受信しているかを確認します。受信していない場合は、新たにリファレンスステーションの設置または地図のインストールを行います。 地図オブジェクトの設置 20 ページを参照してください。
	電源の不具合です。	リファレンスステーションの電源不具合の原因を調べて修正してください。
	リファレンスステーションでエラーが発生し、LED インジケータが赤色で点滅しています。	リファレンスステーションの電源を切断し、再度接続してから、リファレンスステーションを再起動します。問題が解決しない場合は、認定サービス代理店に相談してください。
	エリア内の別のリファレンスステーションまたは他の無線システムとの干渉が生じています。	本製品を再始動してください。問題が解決しない場合は、認定サービス代理店に相談してください。

8.2 チャージステーションの LED インジケータ

正しく取り付けられている場合、チャージステーションの LED インジケータは緑色です。チャージステーションの LED インジケータが緑色でない場合は、次のトラブルシューティング表に従ってください。

最寄りの **Husqvarna** 販売店に問い合わせるか、
www.husqvarna.com で詳細を確認してください。

LED インジケータ	原因	対応措置
緑色に点灯	チャージステーションの信号は良好です。	特に必要ありません。
緑色に点滅	チャージステーション信号は良好で、ECO モードが有効になっています。	特に必要ありません。
青色に点滅	境界ワイヤーがチャージステーションに接続されていません。	境界ワイヤーをチャージステーションに接続します。
	境界ワイヤーが損傷しています。	境界ワイヤーの損傷した部分を、新品の境界ワイヤーに交換します。
赤色に点滅	チャージステーションのアンテナに干渉があります。	最寄りの Husqvarna 販売店にお問い合わせください。
赤色に点灯	回路基板のエラーか、チャージステーションに不適切な電源が接続されています。	エラーは必ず認定サービス技術者が修正してください。最寄りの Husqvarna 販売店にお問い合わせください。

8.3 症状

本製品が通常どおりに動作しない場合は、下の症状表に従ってください。不具合の原因が分からない場合は、お近くの Husqvarna 販売店にご連絡ください。

症状	原因	対応措置
芝生のエッジがしっかりと刈られていない。	EdgeCut ブレードディスクのブレードディスクガードに詰まりがあります。	EdgeCut ブレードディスクのブレードディスクガードを清掃します。
	本製品を設置する前に、芝生のエッジを刈っていない。	芝生用トリマーで芝生のエッジを刈り込んでおきます。
	芝の密度が高く、早く成長する。	本製品にスケジュールした芝刈り時間を延長します。
本製品がうまくドッキングしない。	ガイドワイヤーがチャージステーションに対して直線的にまっすぐに配置されておらず、正しい距離がありません。	チャージステーションの設置を確認します。チャージステーションを設置する方法 30 ページを参照してください。
	ガイドワイヤーがチャージステーションプレートのスロットに入れられていません。	ガイドワイヤーがチャージステーションに対して直線的にまっすぐに配置されていること、およびチャージステーションプレートのスロットに入れられていることを確認します。ガイドワイヤーを取り付ける方法 31 ページを参照してください。
	チャージステーションが水平な場所にありません。	チャージステーションは、平らな場所に設置してください。チャージステーションの設置場所について 25 ページを参照してください。
本製品が指定していない時間に動作する。	本製品の時刻または日付が合っていません。	時刻または日付を設定します。 <i>Time & date (時刻 & 日付)</i> 37 ページを参照してください。
	動作の開始時刻と終了時刻が正しくありません。	スケジュール設定を変更してください。スケジュール 34 ページを参照してください。
本製品が振動する。	ブレードが損傷しているため、カッティングシステムのバランスが取れていません。	ブレードとネジを点検し、必要に応じて交換してください。ブレードの交換 44 ページを参照してください。
	同じ位置のブレードが多すぎるため、カッティングシステムのバランスが取れていません。	ネジに対してブレードが 1 枚だけ取り付けられていることを確認してください。
	本製品に厚さの異なるブレードが取り付けられています。	ブレードの厚さが異なっているかを点検し、必要に応じて交換します。
製品は動作していますが、ブレードディスクは回転していません。	本製品はチャージステーションを探しているか、または出発地点まで運転しています。	本製品の通常の動作です。本製品がチャージステーションを探しているときは、ブレードディスクは回転しません。

症状	原因	対応措置
1回の充電で持続する本製品の動作時間が通常よりも短い。	草などの異物が原因でブレードディスクが詰まっています。	ブレードディスクを取り外して清掃してください。製品の清掃 43 ページを参照してください。
	バッテリーの寿命が近づいています。	バッテリーを交換します。ブレードの交換 44 ページを参照してください。
	ブレードが鈍くなっています。芝を刈る際はより多くのエネルギーが必要となります。	ブレードを交換します。ブレードの交換 44 ページを参照してください。
芝刈り時間と充電時間が通常よりも短い。	バッテリーの寿命が近づいています。	バッテリーを交換します。バッテリー 44 ページを参照してください。
本製品がチャージステーションで数時間停止している。	製品は 1 日の最大芝刈り時間まで動作しました。	特別な操作は必要ありません。スケジュール 34 ページを参照してください。
	ハッチは閉じているが、START ボタンが押されていない。	STOP ボタンを押して、ハッチを開きます。PIN コードを入力し、[OK] ボタンを押して確定します。START ボタンを押して、ハッチを閉じます。
	駐車モードが有効になっています。	動作モードを変更します。動作モード - Start (始動) 40 ページを参照してください。
	バッテリーの温度が高すぎる、または低すぎる場合、本製品は動作しません。	チャージステーションの設置場所が日光から保護されていることを確認してください。
十分に芝刈りされない。	製品は 1 日にわずかな時間しか動作しません。	芝刈り時間を増やしてください。スケジュール 34 ページを参照してください。
	作業エリアの形状については、作業エリア全体をカバーするように芝生範囲の設定を調整する必要があります。	本製品が芝刈りを開始するエリアと芝刈りの頻度の設定を変更します。芝生範囲 36 ページを参照してください。
	作業エリアが広すぎます。	作業エリアのサイズを小さくするか、スケジュールを延長します。スケジュール 34 ページを参照してください。
	ブレードが鈍くなっています。	すべてのブレードを交換します。ブレードの交換 44 ページを参照してください。
	設定された刈高に対して芝が長すぎます。	刈高を上げ、芝が短くなったら下げます。
	ブレードディスクまたはモーターシャフト周辺に草が堆積しています。	堆積した草を取り除き、本製品を清掃します。製品の清掃 43 ページを参照してください。
バッテリーが空で本製品をチャージステーションに駐車しても充電されず、電源を入れることができない。	バッテリーが完全に放電している場合は、バッテリーを充電して本製品をオンできるまで長時間かかります。	本製品をチャージステーションに 24 時間駐車してから、本製品をオンすることができるかをテストします。問題が解決しない場合は、認定サービス技術者に相談してください。

8.4 ループワイヤーの損傷を発見

ループワイヤーの損傷は、通常ショベルを使用した庭仕事など、意図せずにワイヤーを物理的に損傷するために起こります。また、霜柱の立つ国では、尖った石が地中で移動して、ワイヤーを損傷することがあります。設置時にワイヤーを張り過ぎた場合も、損傷することがあります。

設置直後に芝を短く刈り込み過ぎた場合も、ワイヤーの絶縁体を損傷することがあります。絶縁体を損傷しても、数週間または数ヵ月後まで作業中断が発生しないことがあります。



注意： 設置後の最初の数週間は必ず最大の刈高を選択し、それから2週間ごとに一度に1段階ずつ高さを下げて、希望の刈高に達するようにします。

ループワイヤーの接合不良により、接合を行ってから数週間で作業が中断することがあります。接合不良は、例えば、純正カブラーをブライヤーで十分に圧着していない場合や、純正カブラーより品質が劣るカブラーを使用した場合に発生することがあります。

注記： 他のトラブルシューティングを行う前に、まずすべての接合を点検してください。

ワイヤーが破損している場所は、破損が発生していそうな場所で、徐々にループの距離を半分にしなが、非常に短いワイヤーのセクションだけが残るようにすることで発見できます。

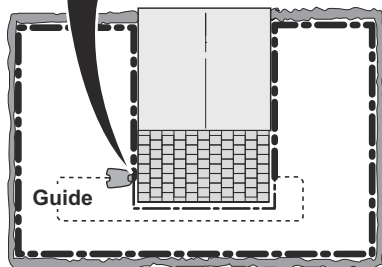
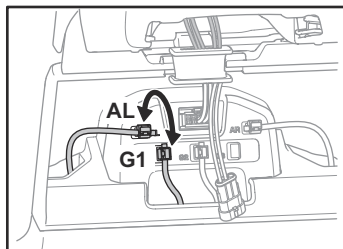
ECO モードが有効な場合は、以下の方法は使用できません。最初に必ず ECO モードをオフにしてください。

ECO モード 35 ページを参照してください。

1. チャージステーションのインジケータランプが青色で点滅していることを確認します。この場合、境界ループの破損を示しています。チャージステーションの LED インジケータ 54 ページを参照してください。
2. チャージステーションまでの境界ワイヤーが正しく接続されており、損傷していないことを確認します。チャージステーションのインジケータランプがまだ青色に点滅しているかどうか点検してください。
3. チャージステーションでガイドワイヤーと境界ワイヤーの接続を切り替えます。

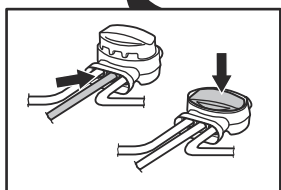
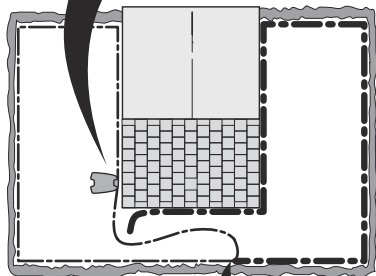
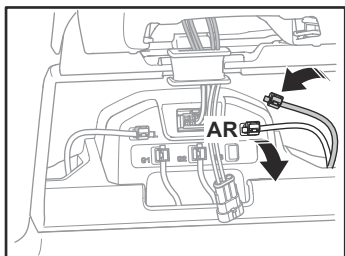
AL および G1 の接続を切り替えて開始します。一部のモデルには、追加のガイドワイヤーがあります。これらのワイヤーについても同じ手順に従うことができます。

インジケータランプが緑色で点灯する場合は、境界ワイヤー上の AL とガイドワイヤーが境界ワイヤーに接続されている地点の間 (図の黒い太線) のどこかで破損しています。

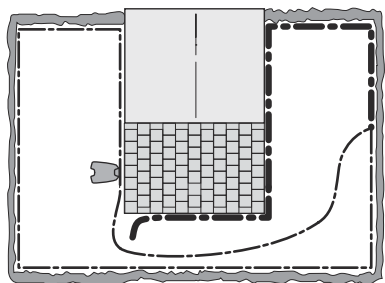


この不具合を修正するには、境界ワイヤー、コネクタ、およびカブラーが必要です。

- a) 問題があると思われる境界ワイヤーが短い場合、最も簡単な方法は AL と、ガイドワイヤーと境界ワイヤー (太い黒い線) が接続する地点との間にあるすべての境界ワイヤーを交換することです。
- b) 問題があると思われる境界ワイヤーが長い場合 (太い黒い線)、次の手順を実行します。AL と G1 を元の位置に戻します。AR の接続を外します。新品のループワイヤーを AR に接続します。この新品のループワイヤーのもう一端を問題があると思われるワイヤーセクションの中央に接続します。

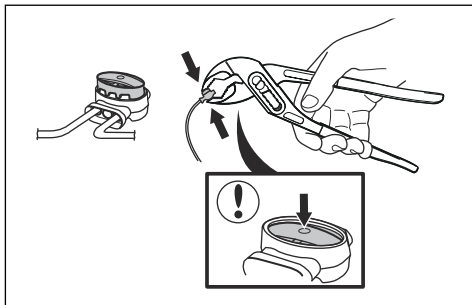


インジケータランプが緑色になったら、接続を解除した端から新しいワイヤーを接続した地点の間（下の図の黒い太線）のどこかでワイヤーが破損しています。この場合は、接続解除した端に新しいワイヤーを近づけて（破損が疑われるワイヤーセクションのほぼ中央まで）、インジケータランプが緑色になるか再度確認します。



緑色点灯と青色点滅が切り替わるワイヤーのセクションが非常に短くなるまで、この作業を続けます。以下の手順 5 の指示に従います。

4. 上記の手順 3 でインジケータランプが青色で点滅したままの場合: AL と G1 を元の位置に戻します。次に AR と G1 を切り替えます。インジケータランプが緑色で点灯している場合、AL の接続を外して、新しい境界ワイヤーを AL に接続します。この新品のワイヤーのもう一端を問題があると思われるワイヤーセクションの中央に接続します。上記の 3a) および 3b) と同じ手順に従います。
5. 破損を特定できたら、破損しているセクションを新品のワイヤーに交換します。常に純正のカブラーをお使いください。



9 搬送、保管、廃棄

9.1 搬送

同梱のリチウムイオンバッテリーは、危険物の規制に関する規則に準拠しています。

- ・ 該当するすべての国内規制に従ってください。
- ・ 民間の運送業者による商用輸送においては、梱包およびラベル付けに関して所定の要件に従ってください。

9.2 本製品の保管方法



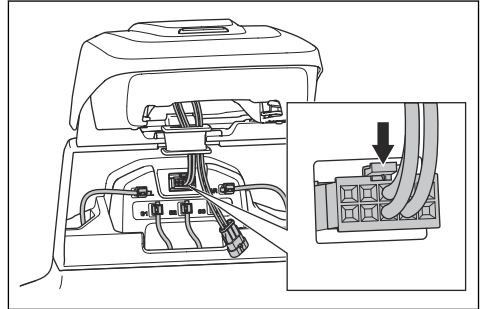
注意： 本製品を保管する前に、バッテリーを完全に充電してください。バッテリーが完全に充電されていないと、バッテリーが損傷するおそれがあります。

- ・ 製品を完全に充電します。「バッテリーの充電 41 ページ」を参照してください。
- ・ 本製品をオフにします。「本製品をオフにする 41 ページ」を参照してください。
- ・ 製品を清掃します。「製品の清掃 43 ページ」を参照してください。
- ・ 本製品は、乾燥した霜の降らない場所に保管してください。
- ・ 本製品を製品の梱包材に入れるか、すべてのホイールが水平な床面に接地した状態で保管することをお勧めします。Husqvarna のウォールハンガーに本製品を掛けることもできます。利用可能なウォールハンガーの詳細については、最寄りの Husqvarna 販売店にお問い合わせください。

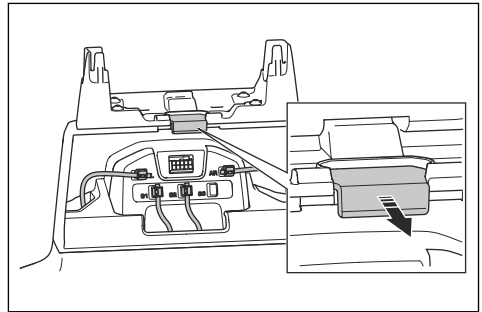
9.3 チャージステーションを保管する

チャージステーションの上部を取り外して保管できます。チャージステーションのベースプレートを保管する必要はありません。

1. チャージステーションの上部を持ち上げて傾け、ハッチを開きます。
2. チャージステーションと電源コンセントから電源装置を外します。
3. ケーブルを外します。



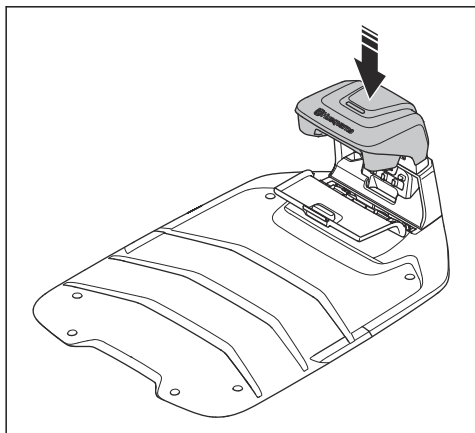
4. ケーブルの付いたグロメットを取り外します。
5. チャージステーションの上部を引き上げて取り外します。
6. シーリングリッドを閉じます。



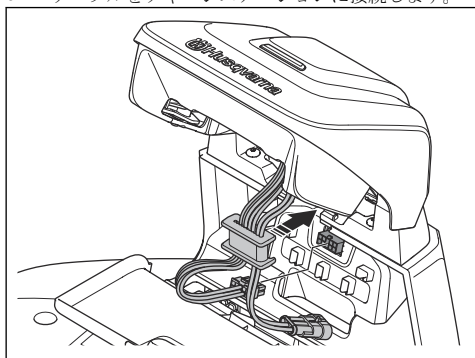
7. ハッチを閉じます。
8. 凍結しない乾燥した場所に、電源装置とチャージステーションの上部を保管します。

9.4 保管後にチャージステーションを設置する

1. ハッチを開きます。
2. シーリングリッドを押し込みます。
3. チャージステーションの上部を取り付けます。



4. チャージステーションの上部を持ち上げて傾けます。
5. ケーブルの付いたグロメットを所定の位置に置きます。
6. ケーブルをチャージステーションに接続します。



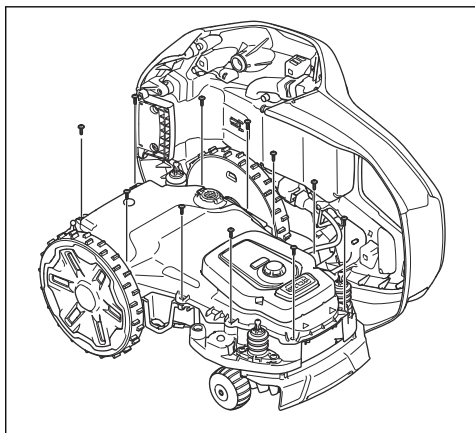
7. 電源コンセントとチャージステーションに電源装置を接続します。
8. ハッチを閉じます。

9.5 廃棄

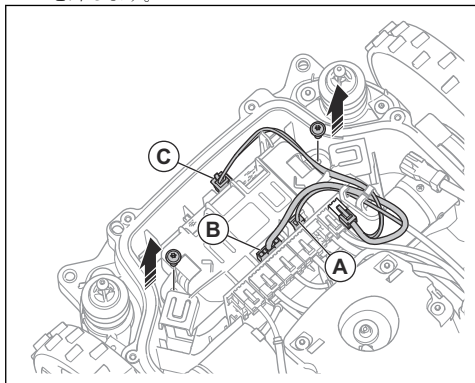
- 地域のリサイクル要件および適用される法規に従ってください。
- バッテリーの取り外し方法については、バッテリーの取り外し方法 **60** ページを参照してください。

9.5.1 バッテリーの取り外し方法

1. 本製品をオフにします。
2. 製品本体を取り外します（「シャーシおよび製品本体の清掃 **43** ページ」を参照）。
3. 12 本のネジを外します。



4. 保証シールを剥がし、下部シャーシを持ち上げます。
5. バッテリーから 2 本のケーブル (A) および (B) を外します。



6. フロントループ回路基板からケーブル (C) を外します。
7. バッテリーホルダーの 2 本のネジを取り外します。
8. バッテリーを外します。

10 主要諸元

10.1 主要諸元

寸法	Automower® 305E NERA	Automower® 310E NERA	Automower® 405XE NERA	Automower® 410XE NERA
長さ、cm／インチ	68/26.8	68/26.8	68/26.8	68/26.8
幅、cm／インチ	44/17.2	44/17.2	44/17.2	44/17.2
高さ、cm／インチ	28/11.0	28/11.0	28/11.0	28/11.0
質量、kg／ポンド	12.2/27	12.2/27	12.1/27	12.1/27
電気系統	Automower® 305E NERA	Automower® 310E NERA	Automower® 405XE NERA	Automower® 410XE NERA
リチウムイオンバッテリー 18.0 V/2.0 Ah、品番	593 74 20-03、 593 74 20-04、 593 74 20-06	593 74 20-03、 593 74 20-04、 593 74 20-06		
リチウムイオンバッテリー 18.V/4.9 Ah、品番			590 81 01-02	590 81 01-02
リチウムイオンバッテリー 18.0 V/5.0 Ah、品番			536 81 24-01、 590 81 01-01、 590 81 01-03	536 81 24-01、 590 81 01-01、 590 81 01-03
リチウムイオンバッテリー 18.5 V/5.0 Ah、品番			536 81 24-02	536 81 24-02
リチウムイオンバッテリー 18.0 V/5.2 Ah、品番			590 81 01-04	590 81 01-04
電源 (28V DC)、V AC	100/240	100/240	100/240	100/240
低電圧ケーブル長、m／フィート	10/32.8	10/32.8	10/32.8	10/32.8
最大使用時での平均エネルギー消費量	7 kWh／月	11 kWh／月	11 kWh／月	13 kWh／月
充電電流、A DC	2.2	2.2	2.2	2.2
電源装置のタイプ ¹³	FW7438/28/D/XX /Y、ADP-60PR XX	FW7438/28/D/XX /Y、ADP-60PR XX	FW7438/28/D/XX /Y、ADP-60PR XX	FW7438/28/D/XX /Y、ADP-60PR XX
平均芝刈り時間、分	50	50	100	100
平均充電時間、分	40	40	90	90

¹³ XX および YY は、市場分類のための英数字または空白文字です。技術的な差異はありません。

境界ワイヤーアンテナ	Automower® 305E NERA	Automower® 310E NERA	Automower® 405XE NERA	Automower® 410XE NERA
動作周波数帯、Hz	100/80000	100/80000	100/80000	100/80000
最大磁界 ¹⁴ 、dBuA/m	82	82	82	82
最大無線周波電力 ¹⁵ 、mW@60m	<25	<25	<25	<25

音響データ ¹⁶	Automower® 305E NERA	Automower® 310E NERA	Automower® 405XE NERA	Automower® 410XE NERA
知覚騒音レベル、dB (A)	60	60	60	60
計測音響騒音レベル、dB (A)	60	60	59	59
騒音排出の不確定性、KWA dB (A)	1	1	2	2
使用者の耳における音圧騒音レベル ¹⁷ 、dB (A)	52	52	51	51

芝刈り	Automower® 305E NERA	Automower® 310E NERA	Automower® 405XE NERA	Automower® 410XE NERA
芝刈り中の消費電力、W +/- 20 %	20	20	25	25
ガイドの数	2	2	3	3
最狭の通過可能経路、cm/インチ	60/24	60/24	60/24	60/24
作業エリアの最大斜度 ¹⁸ 、%	30	30	30	30
境界ワイヤーの最大斜度、%	20	20	20	20
境界ワイヤーの最大長、m/フィート	800/2600	800/2600	800/2600	800/2600
最大長のガイドループ ¹⁹ 、m/フィート	400/1300	400/1300	400/1300	400/1300
境界ワイヤーの最大距離、m/フィート	35/115	35/115	35/115	35/115
最大運転時間、芝刈りと充電、時間/日	15	24	15	24
対応エリア - 不均一、m ² /エーカー、+/- 20%	600/0.15	1000/0.25	600/0.15	1000/0.25
対応エリア - EPOS™ により体系化、m ² /エーカー、+/- 20%	900/0.23	1500/0.37	900/0.23	1500/0.37

¹⁴ EN 303 447 に基づいて測定。

¹⁵ 無線装置が動作する周波数帯におけるアンテナへの最大有効出力電力です。

¹⁶ 機械指令 2006/42/EC および規格 EN 50636-2-107 に基づいて決定。ただし、ISO 11094:1991 に従って測定される知覚騒音レベルを除く。

¹⁷ 音圧騒音の不確実性 K_{pA}、2〜4 dB (A)

¹⁸ 登攀性能を向上するため、荒地ホイールをアクセサリとしてご用意しています。

¹⁹ ガイドループとは、チャージワイヤーに適切に接続されたガイドワイヤーに連結した境界ワイヤーの一部とガイドワイヤーによって形成されるループです。

メインブレードディスク	Automower® 305E NERA	Automower® 310E NERA	Automower® 405XE NERA	Automower® 410XE NERA
カッティングシステム	ピボット付きカッティングブレード (3 枚)	ピボット付きカッティングブレード (3 枚)	ピボット付きカッティングブレード (3 枚)	ピボット付きカッティングブレード (3 枚)
カッティングモーター回転数、rpm	2300	2300	2300	2300
刈高、cm／インチ	2～5.5/0.8～2.2	2～5.5/0.8～2.2	2～5.5/0.8～2.2	2～5.5/0.8～2.2
刈幅、cm／インチ	22/8.7	22/8.7	22/8.7	22/8.7

EdgeCut ブレードディスク	Automower® 305E NERA	Automower® 310E NERA	Automower® 405XE NERA	Automower® 410XE NERA
カッティングシステム	ピボット付きカッティングブレード (3 枚)	ピボット付きカッティングブレード (3 枚)	ピボット付きカッティングブレード (3 枚)	ピボット付きカッティングブレード (3 枚)
カッティングモーター回転数、rpm	2670	2670	2670	2670
刈高、cm／インチ	4.5/1.8	4.5/1.8	4.5/1.8	4.5/1.8
刈幅、cm／インチ	14/5.5	14/5.5	14/5.5	14/5.5

IP コード	Automower® 305E NERA	Automower® 310E NERA	Automower® 405XE NERA	Automower® 410XE NERA
ロボット芝刈機	IPX5	IPX5	IPX5	IPX5
チャージステーション	IPX5	IPX5	IPX5	IPX5
電源	IP44	IP44	IP44	IP44

対応周波数帯	
Automower® Connect 2G	GSM 850 MHz、E-GSM 900 MHz、DCS 1800 MHz、PCS 1900 MHz
Automower® Connect 4G	バンド 12 (700 MHz)、バンド 13 (700 MHz)、バンド 17 (700 MHz)、バンド 28 (700 MHz)、バンド 85 (700 MHz)、バンド 20 (800 MHz)、バンド 5 (850 MHz)、バンド 18 (850 MHz)、バンド 19 (850 MHz)、バンド 26 (850 MHz)、バンド 8 (900 MHz)、バンド 4 (1700 MHz)、バンド 66 (1700 MHz)、バンド 3 (1800 MHz)、バンド 2 (1900 MHz)、バンド 25 (1900 MHz)、バンド 39 (1900 MHz)、バンド 1 (2100 MHz)

出力クラス		
Bluetooth® 出力電力	9 dBm	
Automower® Connect 2G	出力クラス 4 (GSM/E-GSM)	33 dBm
	出力クラス 1 (DCS/PCS)	30 dBm
	出力クラス E2 (GSM/E-GSM)	27 dBm
	出力クラス E2 (DCS/PCS)	26 dBm
Automower® Connect 4G	出力クラス 3	23 dBm

Wi-Fi	Automower® 310E NERA/Automower® 410XE NERA
対応周波数帯 ²⁰	チャンネル 1～11 (2412～2462 MHz)
	チャンネル 12～13 (2467～2484 MHz)
	チャンネル 14
動作周波数帯、MHz	2402～2480
最大周波電力、dBm	20

Husqvarna AB は、リモコン、無線送信機、ヒアリンググループ、地下の動物用電気柵など、他の無線システムと本製品の間の互換性を完全には保証していません。

10.1.1 登録商標

Bluetooth® マークとロゴは Bluetooth SIG, inc. が所有する登録商標です。Husqvarna は当該マークの使用に関するライセンスを取得済みです。

Wi-Fi CERTIFIED™ ロゴは Wi-Fi Alliance® の登録商標です。本製品は Wi-Fi Alliance® 認証済みです。



²⁰ 該当する諸国では、チャンネル 12～14 のみを使用されます。

11 日本市場に適用可能

11.1 コンプライアンス要件

Bluetooth® モジュール、レーダーモジュール、携帯電話通信モジュールは、本製品の内部にあります。これらには、認定されたサービス技術者のみがアクセスできます。

このロボット芝刈機に搭載された内部モジュールは次の法律に基づいて日本国内での使用が認められています：
電波法 本機は、日本の電波法に適合しています。本機は改造できません。改造した場合、適合証明が無効になります。



R

201-220052



R

003-240168



T

D200087003



AUTOMOWER® はハスクバーナABが所有する商標です。
著作権© 2025 HUSQVARNA。無断複写・転載を禁じます。

www.husqvarna.com

取扱説明書原本



1144028-79



2026-07-08